

概 要 版

ぐんま・ 県土整備プラン2025

2025 >>> 2034

災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県の実現



20年後の社会資本整備の目指す姿と、 そこに向けた10年間の政策の方向性を描いた、県土整備分野の羅針盤

社会資本整備は、県民の安全・安心を確保するとともに、経済成長や持続可能な地域社会の基盤となる、県民の幸福度向上に欠かすことのできない未来への投資です。20年後の将来を見据え、災害に強く魅力的な群馬を創るため、「ぐんま・県土整備プラン2025」に基づき、様々な取組を展開します。

「ぐんま・県土整備プラン2025」とは

2045年に目指す将来像の実現に向けて、道路や河川、砂防施設、県立公園、下水道、県営住宅など、社会資本の整備や維持管理を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の最上位計画です。

計画期間

令和7年度（2025年度）～ 令和16年度（2034年度）【10年間】

今後の群馬県社会資本整備の方向性

社会資本整備を取り巻く変化の見通し

- ◆ 気候変動の影響等による気象災害の更なる頻発化・激甚化
- ◆ 切迫する大規模地震
- ◆ 加速するインフラの老朽化
- ◆ 人口減少と高齢化の更なる進行
- ◆ 市街地の拡散と低密度化
- ◆ 社会資本整備と維持管理の担い手の減少
- ◆ デジタル革命の加速
- ◆ コロナ禍を経た社会構造の変化
- ◆ 東京一極集中の脆弱性
- ◆ カーボンニュートラルに向けた機運の拡大

「ぐんま・県土整備プラン2020」の進捗

災害対応組織力の維持

災害発生時において、地域の実情を熟知した建設産業が、状況に応じて迅速かつ機動的に発揮する現場力

今後の群馬県の政策の方向性

政策
1

県民の幸福度向上

政策
2

新群馬の創造

政策
3

群馬モデルの発信

3つの近未来構想 リトリートの聖地・クリエイティブの発信源・レジリエンスの拠点



見直しのポイント

「ぐんま・県土整備プラン2020」を継承しつつ、「連携・共創による群馬ならではの未来につながる社会資本整備」を推進

⇒ 20年後の将来を見据え、社会資本整備は新たなステージへ

社会資本整備は新たなステージへ

群馬の可能性を喚起し、未来へつながる社会資本整備の基本的考え方

「気候変動の影響等による気象災害の更なる頻発化・激甚化」や「切迫する大規模地震」などの状況を踏まえつつ、ビルド・バック・ベターの考えを取り入れ、防災・減災対策の更なる推進により群馬県のレジリエンスを一層向上させます。

また、「コロナ禍を経た社会構造の変化」や「デジタル革命の加速」などの状況を踏まえつつ、市町村・民間等との連携・共創やグリーンイノベーションの推進により、県民の潜在的ニーズや群馬の可能性を喚起し、群馬ならではの未来につながる社会資本整備を進めます。

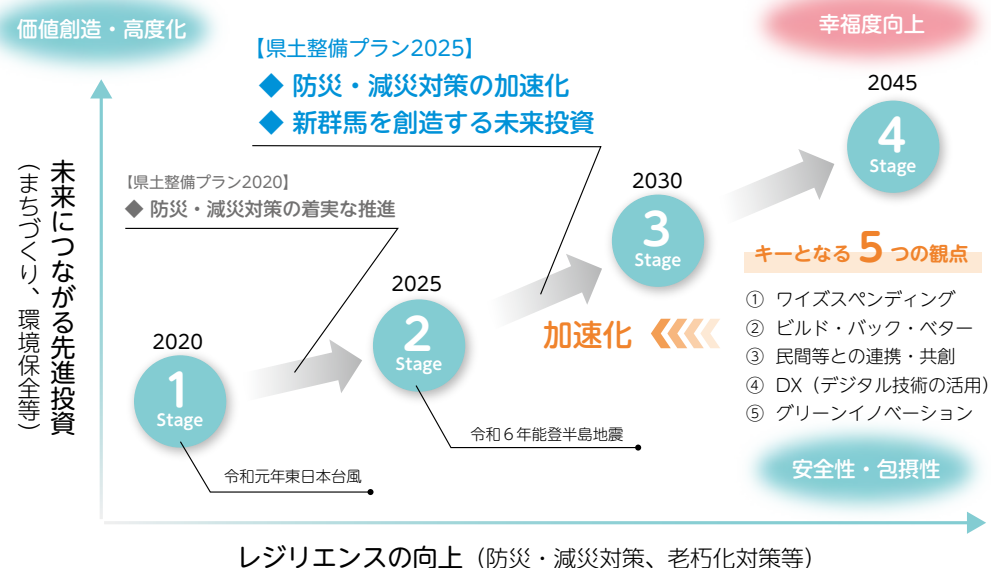
この二つの方針を軸として、社会資本整備を新たなステージへと進めます。

ビルド・バック・ベターによる
災害レジリエンスの加速化

×

民間等との連携・共創や
DX、GIによる未来投資

社会資本整備の新たなステージへの移行イメージ



取組を加速するための「5つの観点」

ワイズスペンディング（複合的な投資効果の追求）、ビルド・バック・ベター、連携・共創、DX、GIを、群馬県の社会資本整備を新たなステージへと移行するための重要な観点と位置付け、この5つの観点に基づき、社会資本整備の様々な取組を展開します。

このうち連携・共創、DX、GIの3つの観点は、「横串の視点」として政策・施策体系の中に位置付け、群馬ならではの取組を加速させます。



20年後に目指す将来像

群馬県の基本理念である「すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型社会の実現」に向け、社会資本整備分野が20年後（2045年）に目指す将来像を描きます。

20年後に目指す将来像



20年後に目指すぐんまの姿

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

- 災害時にも経済活動の継続性が確保され、企業の県内進出や移住・定住が進んでいます。
- 災害時の孤立集落の発生がなくなります。
- 水害や土砂災害からの逃げ遅れによる死者がいなくなります。
- 災害時においても地域の安全を守る体制が維持されています。

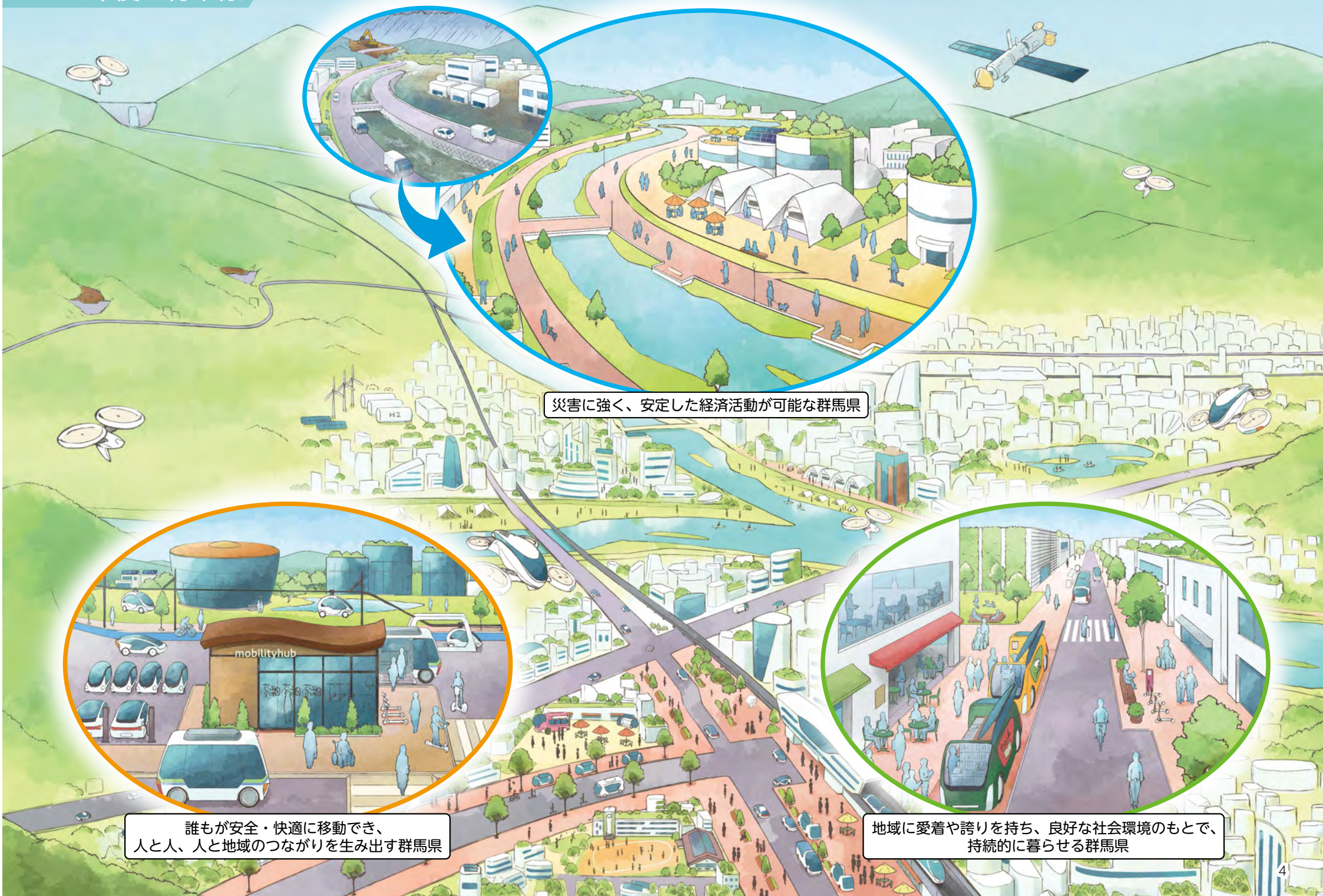
誰もが安全・快適に移動でき、 人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県

- 次世代モビリティの普及や移動手段がシームレスにつながり、誰もが安全、便利に移動できます。
- 移動時間が短縮するとともに、渋滞がなくなり、あらゆる産業の生産性や観光の周遊性が向上しています。
- 安全な道路空間が整備され、子どもたちが安心して通学しています。

地域に愛着や誇りを持ち、 良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

- 居心地の良い歩きたくなる人中心のまちなか空間の創出により、地域の魅力が高まり、周辺の民間投資が進んでいます。
- 群馬ならではの未来投資により、群馬が世界から注目される都市になっています。
- 豊かで美しい自然環境が引き継がれています。
- 再生可能エネルギーの利活用などにより、賢い成長と持続可能な社会が両立しています。

誰もが幸福を実感できる社会



災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

誰もが安全・快適に移動でき、
人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県

地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで、
持続的に暮らせる群馬県

将来像の実現に向けた政策の方向性

将来像の実現に向けた課題

- ① 気候変動の影響等により頻発化・激甚化する気象災害と増大する災害リスク
- ② 切迫する大規模地震
- ③ 重要交通網の寸断による社会的・経済的損失リスクの増大

- ① 加速するインフラの老朽化
- ② 労務・資材単価の高騰により、維持管理水準を維持することが困難
- ③ インフラメンテナンスに携わる担い手の不足

- ① 車中心から人中心の空間へと転換が進むまちづくりの新潮流
- ② 人口減少と市街地の拡散による低密度化
- ③ 人口減少の進行により、市町村単独では維持が困難になる生活に必要な都市機能
- ④ 全国ワースト上位の交通人身事故発生件数

- ① 失われつつある野生動植物の多様性
- ② 遅れている水質環境の改善
- ③ 進行する地球温暖化

- ① 就業者の減少や高齢化が進行する建設産業

今後10年間の政策の方向性

【災害レジリエンスNo.1の実現】

気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、市町村、民間企業や県民等との連携・共創によるオール群馬での防災・減災対策を加速させるとともに、能登半島地震を踏まえた孤立集落対策などの事前防災を推進します。

【持続可能で効率的なメンテナンス】

厳しい財政状況かつ労務・資材単価の高騰の中でも、県民の安全・安心な生活を守るため、インフラメンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減と平準化を図るとともに、官民連携による新技術の活用などにより、持続可能で効率的なメンテナンスを推進します。

【未来につながる魅力的なまちづくり】

人口減少と高齢化が同時に進行する局面においても、誰もが生活に必要な都市機能を持続的に享受できるよう、広域的な観点から市町村のまちづくりを支援しながら、暮らしを支え安全で快適に移動できる環境を整備し、群馬の強みを活かしたエリア価値を創造する未来投資を進めることで、誰もが地域に魅力を感じ、幸福を実感できるまちづくりを推進します。

【美しく良好な環境の保全】

次世代に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、賢い成長と持続可能な社会の両立を目指し、カーボンニュートラルの実現につながる地球温暖化対策を推進します。

【社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成】

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援します。

政策・施策及び方策の体系

今後10年間の政策の方向性を踏まえ、目指す将来像を実現するための政策・施策や社会資本整備と維持管理の担い手の確保・育成のための方策、社会資本整備の進め方についての方策を推進します。さらに、社会資本整備の取組を加速させる重要な観点である「連携・共創」、「DX」、「GI」の3つの観点を「横串の視点」とし、群馬ならではの取組を展開します。

◎ 将来像を実現するための政策・施策

政策 1	災害レジリエンスNo.1の実現	最重点	共創	横串の視点① 連携・共創による持続可能な社会資本整備	DX	GI
	施策 1：オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）					
	施策 2：大規模災害を想定した事前防災の推進					
	施策 3：「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート					
政策 2	持続可能で効率的なメンテナンス					
	施策 1：予防保全に基づく長寿命化					
	施策 2：効率的な維持管理					
	施策 3：新技術を活用したインフラメンテナンス					
政策 3	未来につながる魅力的なまちづくり					
	施策 1：エリア価値を創造する未来投資					
	施策 2：持続可能で暮らしやすいまちづくり					
	施策 3：地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備					
	施策 4：誰もが安全に移動できる環境づくり					
政策 4	美しく良好な環境の保全					
	施策 1：豊かで美しい自然環境の保全・再生					
	施策 2：健全な水循環の維持・回復					
	施策 3：地球温暖化対策の推進					

方策 1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

方策 1-1 : 建設産業の働き方改革

方策 1-2 : 建設現場の生産性向上

方策 1-3 : 建設産業の魅力の発信

方策 2 計画の推進に当たって

方策 2-1 : 地域ごとの災害対応組織力の維持

方策 2-2 : 選択と集中による効率的・効果的な事業の推進

方策 2-3 : 社会資本の複合的な投資効果の追求

方策 2-4 : わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化

方策 2-5 : 県土整備プランの実効性の確保

災害レジリエンスNo.1の実現

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 「レジリエンスの拠点」として首都圏機能をバックアップし、企業の県内進出や移住・定住が進んでいます。
- ✓ 災害時の孤立集落の発生がなくなります。
- ✓ 水害や土砂災害からの逃げ遅れによる死者がいなくなります。

10年後の姿の実現に向けた施策

気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、市町村、民間企業や県民等との連携・共創によるオール群馬での防災・減災対策を加速させるとともに、能登半島地震を踏まえた孤立集落対策などの事前防災を推進します。

施策 1

共創 DX GI

オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）

- 水害に強いまちづくりを推進します。

河川管理者が主体となっていく水害対策に加え、国・県・市町村・住民や企業等の流域全体のあらゆる関係者が協働し、まちづくりや住まい方など、土地利用と一体となった水害対策を推進します。



指標

水害リスクが軽減される家屋戸数
29,393戸（R6末）▶ 50,386戸（R16末）

施策 2

共創

大規模災害を想定した事前防災の推進

- 能登半島地震等を教訓とした県土の強靱化を推進します。

落石や土砂災害等により、道路が寸断することがないように、落石対策や砂防施設の整備を推進し、孤立集落の発生を抑制します。



指標

孤立集落の発生リスクが軽減される路線数
14路線（R6末）▶ 34路線（R16末）

施策 3

共創 DX

「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート

- 異常気象時の主体的な早期避難を促進します。

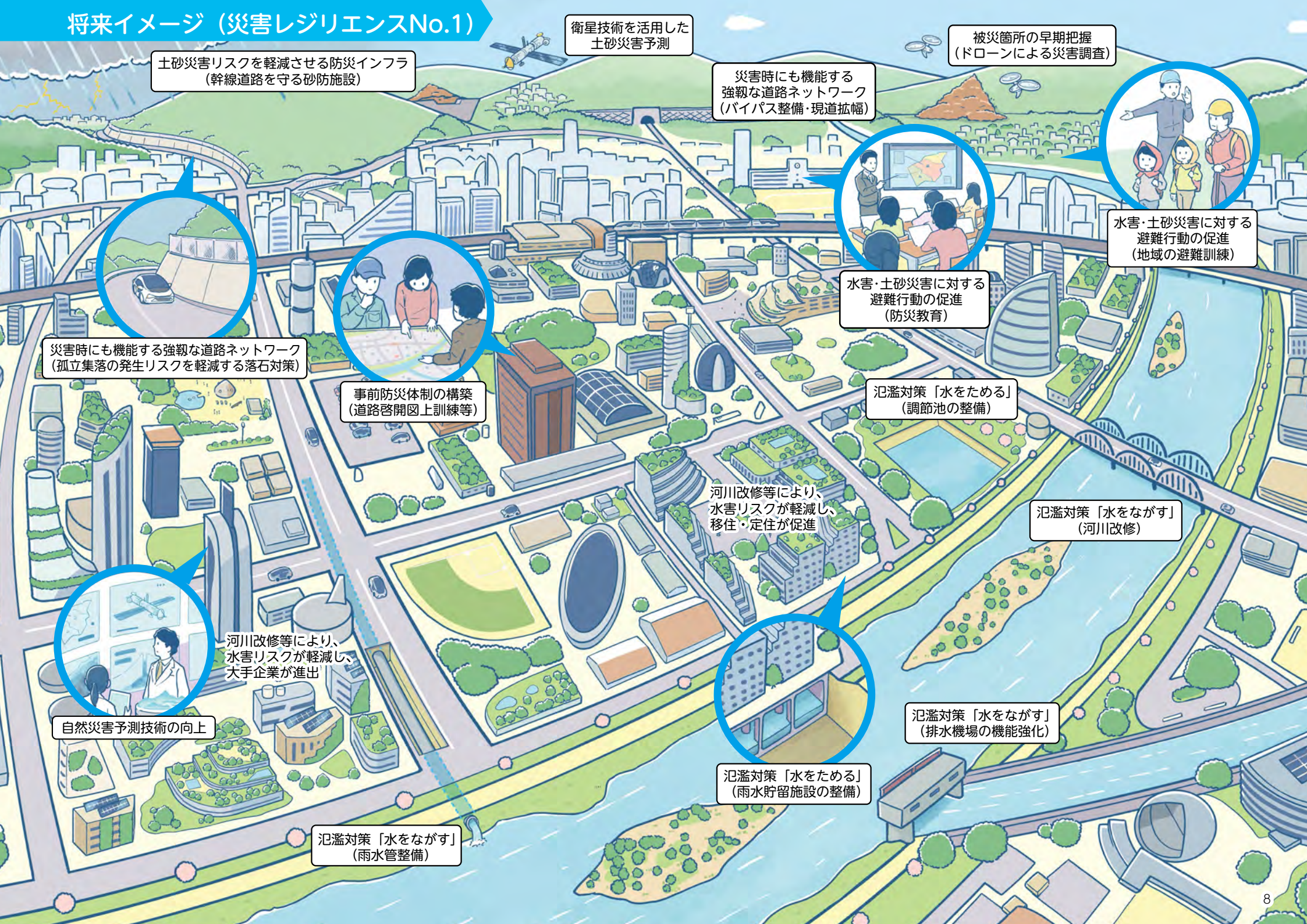
県民にわかりやすい防災情報を発信することで、異常気象時の主体的な避難行動を促進し、水害や土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指します。



指標

水害や土砂災害からの「逃げ遅れ」による死者数
0人／年の維持

将来イメージ (災害レジリエンスNo.1)



衛星技術を活用した
土砂災害予測

被災箇所の早期把握
(ドローンによる災害調査)

災害時にも機能する
強靱な道路ネットワーク
(バイパス整備・現道拡幅)

土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ
(幹線道路を守る砂防施設)

水害・土砂災害に対する
避難行動の促進
(地域の避難訓練)

水害・土砂災害に対する
避難行動の促進
(防災教育)

災害時にも機能する強靱な道路ネットワーク
(孤立集落の発生リスクを軽減する落石対策)

事前防災体制の構築
(道路啓開図上訓練等)

氾濫対策「水をためる」
(調節池の整備)

河川改修等により、
水害リスクが軽減し、
移住・定住が促進

氾濫対策「水をながす」
(河川改修)

河川改修等により、
水害リスクが軽減し、
大手企業が進出

自然災害予測技術の向上

氾濫対策「水をながす」
(排水機場の機能強化)

氾濫対策「水をためる」
(雨水貯留施設の整備)

氾濫対策「水をながす」
(雨水管整備)

持続可能で効率的なメンテナンス

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ インフラ長寿命化計画に基づくメンテナンスサイクルが確立し、インフラの健全性が次世代へと確実に引き継がれています。
- ✓ 効率的な維持管理により、誰もが安全で快適に過ごせる生活基盤を維持しています。
- ✓ ぐんま独自の新技術が創出され、社会実装が進むことで、持続的なメンテナンス体制が構築されています。

10年後の姿の実現に向けた施策

厳しい財政状況かつ労務・資材単価が高騰する中でも、県民の安全・安心な生活を守るため、インフラメンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減と平準化を図るとともに、官民連携による新技術の活用などにより、持続可能で効率的なメンテナンスを推進します。

施策 1

予防保全に基づく長寿命化

- 将来を見据えたインフラの長寿命化を推進します。

長寿命化計画に基づく予防保全型の計画的な維持管理・更新を推進し、トータルコストの縮減と平準化を図ります。



指標

道路橋における老朽化に伴う
劣化に起因した全面通行止め件数
0件／年の維持

施策 2

共創

効率的な維持管理

- 官民連携で、安全で快適な生活基盤を維持します。

日常点検や除草、除雪等の維持管理において、ICT技術、新たな維持管理手法や民間活力を積極的に導入し、効率的な維持管理を行います。



施策 3

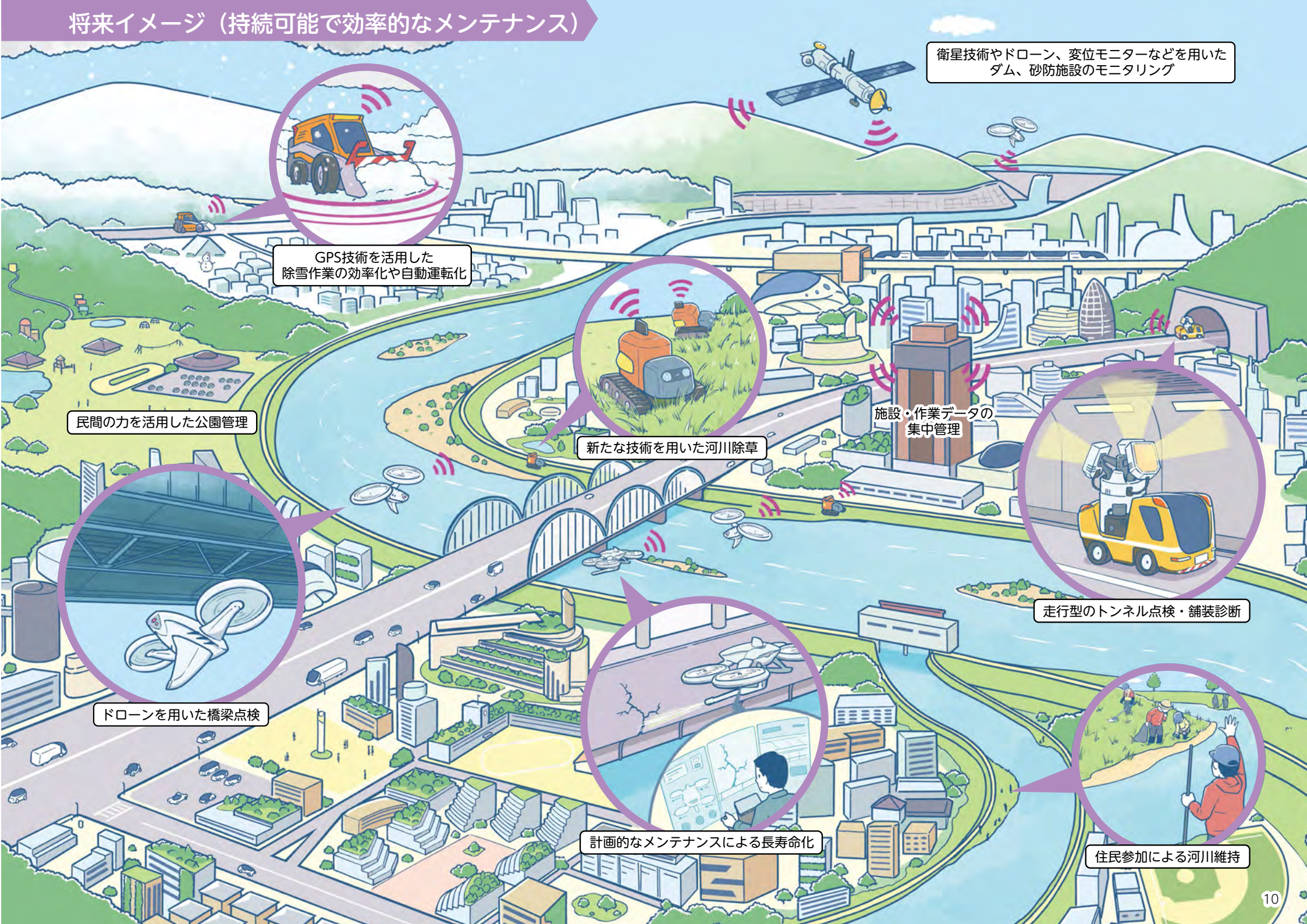
共創 DX

新技術を活用したインフラメンテナンス

- 持続的なインフラメンテナンス産業の創出を支援します。

ICT、AIなどのデジタル技術を活用した点検、モニタリングやメンテナンスを推進するとともに、持続的なメンテナンス体制を構築するため、新技術導入促進の場を設けるなど、インフラメンテナンス産業の創出を支援します。





衛星技術やドローン、変位モニターなどを用いた
ダム、砂防施設のモニタリング

GPS技術を活用した
除雪作業の効率化や自動運転化

新たな技術を用いた河川除草

施設・作業データの
集中管理

走行型のトンネル点検・舗装診断

ドローンを用いた橋梁点検

計画的なメンテナンスによる長寿命化

住民参加による河川維持

民間の力を活用した公園管理

未来につながる魅力的なまちづくり

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 先進的な技術や発想で、群馬をリードする拠点が新たな「群馬の未来」を拓いています。
- ✓ 商業、医療、福祉などの生活サービスが維持され、誰もが暮らしやすい居住環境が確保されています。
- ✓ 移動の利便性が高まり、企業集積や観光地のにぎわいが増すとともに、生活サービスを利用しやすくなっています。
- ✓ こどもたちが安全に通学できる環境の整備が進み、子育て世代も安心して住めるまちになります。

10年後の姿の実現に向けた施策

人口減少と高齢化が同時に進行する局面においても、誰もが生活に必要な都市機能を持続的に享受できるよう、広域的な観点から市町村のまちづくりを支援しながら、暮らしを支え安全で快適に移動できる環境を整備し、群馬の強みを活かしたエリア価値を創造する未来投資を進めることで、誰もが地域に魅力を感じ、幸福を実感できるまちづくりを推進します。

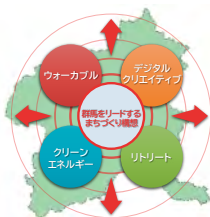
施策 1



エリア価値を創造する 未来投資

- 独自性を持った先進的なリーディングプロジェクトを推進します。

空間デザインやインフラ整備等を通じて、市町村が進める未来につながるまちづくり構想の実現を支援します。



指標

リーディングプロジェクト
エリアの地価
84千円/㎡(R5末) ▶ 84千円/㎡以上(R16末)

施策 2



持続可能で暮らしやすい まちづくり

- 適正な土地利用と居住環境づくりで「まちのまとまり」を維持します。

誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、土地利用計画、市街地整備、空き家対策等を通じて、「まちのまとまり」を維持します。



指標

市街化区域内人口密度
67.3人/ha(R5末) ▶
60人/ha以上の維持(R16末)

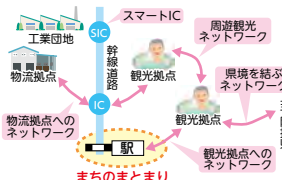
施策 3



地域の暮らしや経済活動を 支えるインフラ整備

- 物流・人流を支える広域道路ネットワークの整備を進めます。

物流・人流ネットワークや都市間連携ネットワークの構築、現道拡幅等の域内道路整備により、円滑な移動環境を整備します。



指標

渋滞損失時間の削減量
年間 0 人時間(R6末)
▶ 年間 106.9万人時間(R16末)

施策 4



誰もが安全に 移動できる環境づくり

- 安全で快適な歩道や自転車通行空間の整備を進めます。

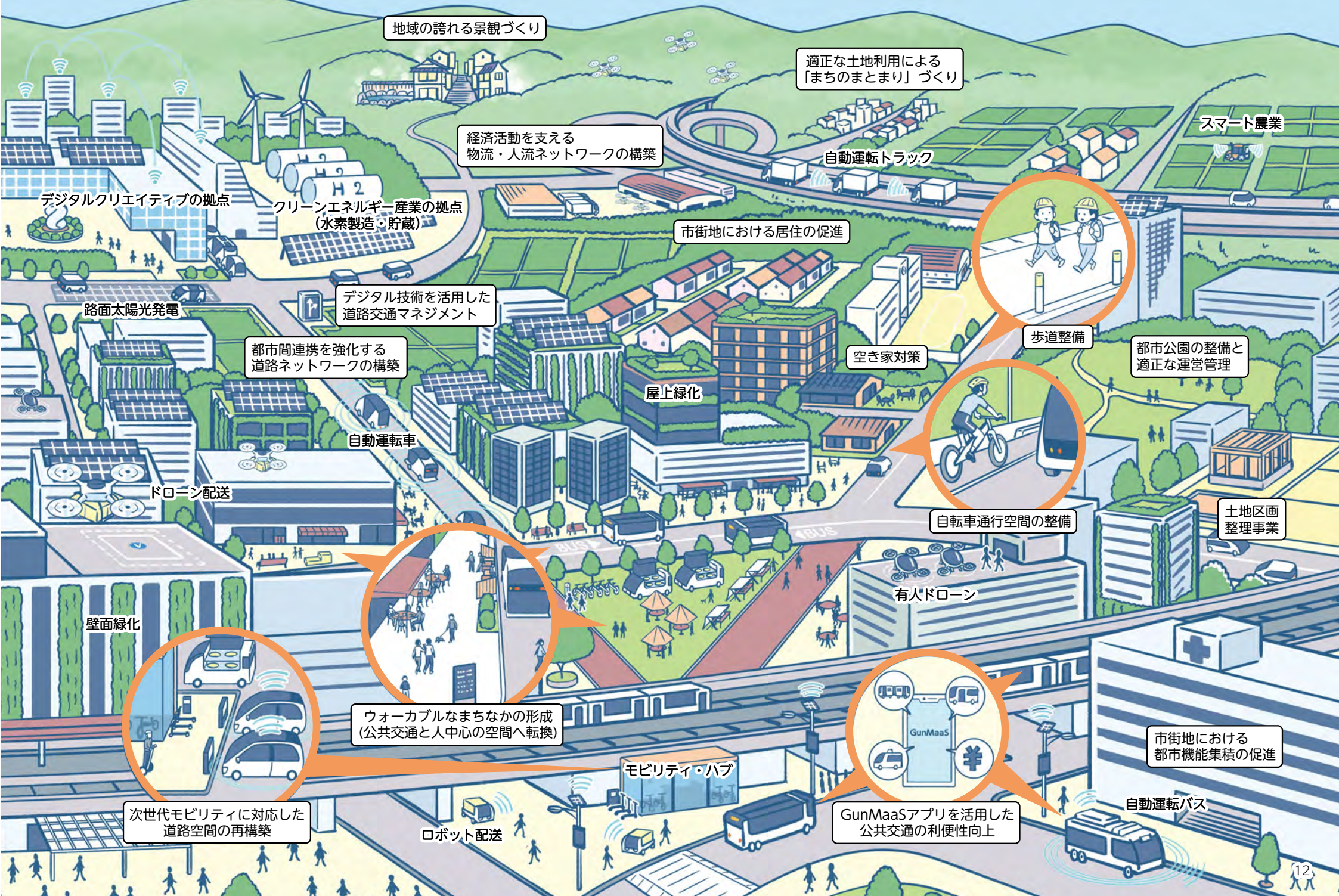
通学路の歩道整備、中高生の通学経路等の自転車通行空間整備を優先的に進め、こどもたちの安全な通学環境を整備します。



指標

安全な通学環境の整備率
77%(R6末) ▶ 95%(R16末)

将来イメージ（未来につながる魅力的なまちづくり）



美しく良好な環境の保全

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 環境共生、生物多様性が回復し、豊かで美しい自然環境が引き継がれています。
- ✓ 誰もが安心して利活用できる水環境に改善されています。
- ✓ 賢い成長と持続可能な社会の両立に向け、再生可能エネルギーの活用や資源の循環利用が進んでいます。

10年後の姿の実現に向けた施策

次世代に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、賢い成長と持続可能な社会の両立を目指し、カーボンニュートラルの実現につながる地球温暖化対策を推進します。

施策 1



豊かで美しい自然環境の 保全・再生

- 未来につながる群馬ならではの自然環境を形成します。

生物の生息環境の保全や再生に配慮した多自然川づくりを行うほか、地域住民等と協力し、自然再生に向けた取組を進めます。



施策 2

健全な水循環の維持・回復

- 下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスにより、健全な水循環を形成します。

下水道や農業集落排水による整備では非効率となった区域を合併処理浄化槽による整備区域に変更することで、効率的・効果的な污水处理施設の整備を推進します。



施策 3



地球温暖化対策の推進

- カーボンニュートラルに向けたインフラの有効活用を推進します。

環境負荷の少ない資機材や木材の利用、水力発電をはじめとする再生可能エネルギーによる発電を導入します。



水力発電のイメージ

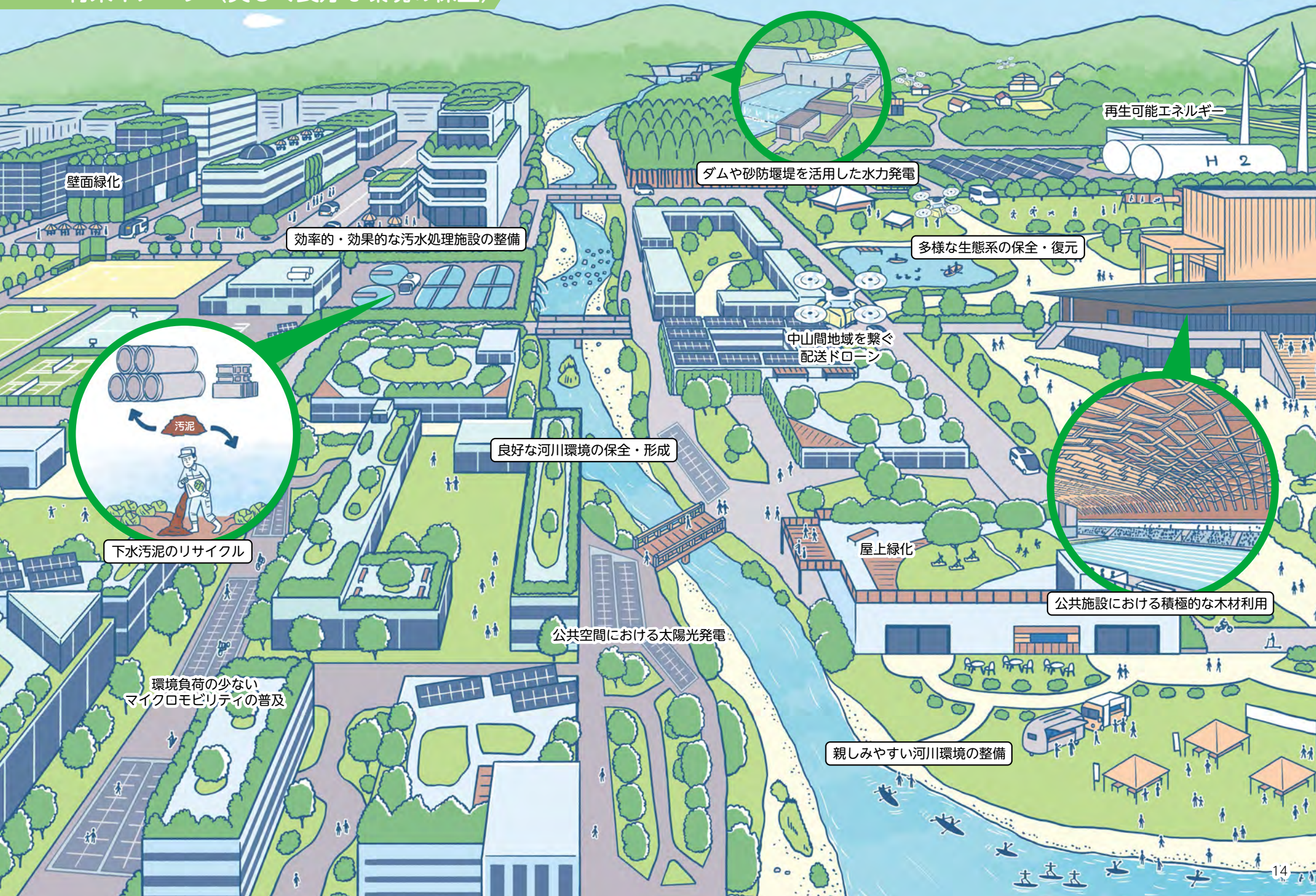
指標

県内温室効果ガス排出量

14,268千トン-CO₂ (R3末) ▶

9,823千トン-CO₂ (R12末)

将来イメージ（美しく良好な環境の保全）



方策1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 建設産業が持続的に発展します。
- ✓ 社会資本の整備や維持管理体制と災害時に迅速な対応ができる体制を維持します。

10年後の姿の実現に向けた施策

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援します。

方策1-1

建設産業の働き方改革

- 長時間労働の是正や処遇改善に取り組みます。

建設産業を魅力あるものにし、将来の担い手となる若手技術者等を確保するため、週休2日や建設キャリアアップシステムの促進など、建設産業の働き方改革に取り組みます。

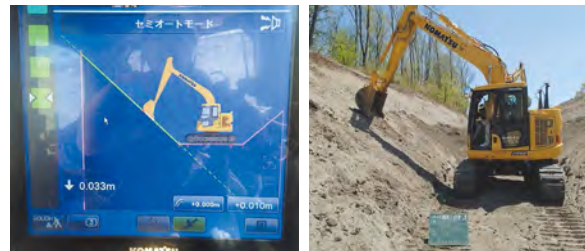


方策1-2

建設現場の生産性向上

- 建設現場におけるICT技術の活用を促進します。

建設現場の生産性向上を図るため、「ICT活用工事」や「建設現場のWeb監督」の導入を促進するとともに、CIMの導入に向けた取組を進めます。



方策1-3

建設産業の魅力の発信

- 効果的な広報を展開するとともに、技術者の活躍・定着を支援します。

建設産業の魅力ややりがいを伝えるため、世代や対象者に応じた効果的な広報を展開するとともに、若手技術者がやりがいを実感し、活躍・定着するための支援策に取り組みます。



指 標

災害時に迅速かつ機動的に対応可能な建設業者数

287業者 (R6末) ▶ 287業者の維持 (R16末)

方策2 計画の推進に当たって

方策2-1

地域ごとの災害対応組織力の維持

地域ごとに災害対応組織力を維持していくため、各地域をリードする中心的事業と、能登半島地震を踏まえた孤立対策などの地域密着型事業を県内各地域で実施します。地域ごと、そして県全体の災害対応組織力を維持することで、「災害レジリエンスNo.1」の実現を目指します。

中心的事業

事業規模が大きく、
また複合的な効果が高い、
各地域の発展に大きく寄与する事業



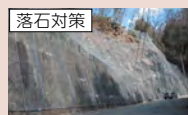
地域密着型事業

孤立対策や住民生活に密着した
安全・安心などに資する事業

孤立対策

落石や崩落土砂、土石流、
がけ崩れなどから道路や
鉄道、避難所等を保全

落石対策



土石流対策



がけ崩れ対策



河川改修(中小規模)



歩道整備



交差点改良



右折レーン設置

災害レジリエンスNo.1
の実現

県全体の
災害対応組織力を**維持**

地域ごとの災害対応組織力を**維持**

方策2-2

選択と集中による効率的・効果的な事業の推進

将来像の実現に向けて、4つの政策を着実に推進し、様々な地域課題を解決するため、選択と集中により社会資本整備の効果の最大化を図りながら、計画的かつ効率的・効果的に社会資本整備を推進します。

ステップ1 社会資本の機能の維持

既存の社会資本の機能を維持させながら、県民の命と暮らしを守るため

維持管理・更新に優先投資

政策2：持続可能で効率的なメンテナンス

ステップ2 災害レジリエンスNo.1の実現

頻発化・激甚化する気象災害にしっかりと対応するため

流域全体のあらゆる関係者が協働する「流域治水」を推進

政策1：災害レジリエンスNo.1の実現

ステップ3 地域が抱える課題の解決

持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため

地域の課題解決に資する事業に重点投資〔着手した事業の完成を優先〕

政策3：未来につながる魅力的なまちづくり

政策4：美しく良好な環境の保全

12地域別に地域の課題解決に向け、4つの政策に基づく主要事業を展開

方策2-3

社会資本の複合的な投資効果の追求

複合的な投資効果の追求とは、事業の様々な効果を検証し、評価することです。あらゆる面から事業効果を検証することで、未来につながる効果的な事業に集中的に投資します。

方策2-4

わかりやすい情報発信による 県土整備行政の見える化

社会資本整備の必要性や重要性を県民にわかりやすく伝えるため、社会資本整備のプロセスの「見える化」やインフラツーリズム、動画配信などを推進します。

また、計画決定プロセスの透明性の向上を図り、多様な地域のニーズを的確に反映する取組を進めます。

方策2-5

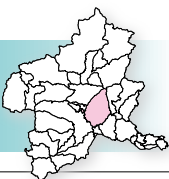
県土整備プランの実効性の確保

将来像の実現に向けて、各政策・施策の取組が着実に実行されているか、外部有識者により構成するフォローアップ委員会を開催し、毎年度点検します。

また、社会情勢の変化や県民ニーズの変化等に対応するため、概ね5年ごとに計画の見直しを行います。

前橋地域

MAEBASHI



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川利根川の堤防強化等を推進するほか、一級河川利根川の河川改修に着手します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道前橋赤城線の電線共同溝や県道前橋玉村線のバイパス整備等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・将来に渡って魅力的なまちづくりを進めるため、敷島エリアの価値を高める敷島公園新水泳場の整備を推進します。
- ・自動運転など次世代モビリティに対応した公共交通と人中心のウォークアブルな道路空間に変貌させるため、(都)前橋駅通線の道路空間再編に着手します。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、(都)赤城山線の歩道整備、県道前橋赤城線の電線共同溝の整備等を推進します。

前橋地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

一級河川利根川（前橋・高崎・玉村工区）河川改修事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 水害発生時の浸水戸数や重要公共施設の浸水範囲が大幅に減少します！
- ◆ 新たな産業拠点の形成や企業誘致を促進します！

● どのような事業を行うのか

利根川の流下能力を確保するため、築堤や河道掘削を行います。



出水時の様子



大雨時は河川が増水し、家屋等が浸水するおそれがあります。

主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業^{*1}

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	1	一級河川利根川 堤防強化	前橋市小島田町～上泉町
	2	一級河川利根川 堤防強化	前橋市二之宮町～今井町
	3	一級河川利根川 河川改修	前橋市富士見町皆沢
	4	県道前橋赤城線（上細井町工区）電線共同溝	前橋市上細井町
	5	県道前橋箕郷線（国領町工区）電線共同溝	前橋市国領町
	6	県道前橋玉村線（朝倉工区）バイパス整備	前橋市朝倉町～下佐島町
3	7	敷島公園 新水泳場整備	前橋市敷島町
	8	県道苗ヶ島飯土井線（波志江スマートICアクセス）道路新設	前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
	9	県道大胡赤城線（赤城温泉1工区）現道拡幅	前橋市苗ヶ島町
	10	県道前橋赤城線（小暮交差点工区）電線共同溝	前橋市富士見町小暮
	11	県道前橋大間々桐生線（城東町工区）電線共同溝	前橋市城東町
	12	県道前橋赤城線（北代田町工区）電線共同溝	前橋市北代田町～若宮町
	13	県道前橋赤城線（時沢工区）歩道整備	前橋市富士見町時沢
	14	(都)赤城山線 歩道整備	前橋市北代田町～上細井町
	15	(都)敷島公園大師線（2期工区）歩道整備	前橋市青柳町～上細井町

2. 令和11年度までに着手予定の事業^{*2}

1	16	一級河川利根川（前橋・高崎・玉村工区）河川改修	前橋市下阿内町～公田町
	17	東沢イ-1地区 げけ崩れ対策	前橋市苗ヶ島町
3	18	(都)前橋駅通線 道路空間再編	前橋市本町ほか
	19	県道前橋伊香保線（総社町総社交差点）交差点改良	前橋市総社町総社
	20	県道前橋長瀬線（下石倉町交差点）交差点改良	前橋市下石倉町
	21	県道大胡赤城線（河原浜町工区）歩道整備	前橋市河原浜町
	22	県道前橋大間々桐生線（膳工区）歩道整備	前橋市粕川町膳
	23	県道津久田停車場前橋線（北代田町工区）歩道整備	前橋市北代田町
	24	県道前橋大間々桐生線（上泉町工区）電線共同溝	前橋市上泉町
	25	県道三夜沢固定停車場線（女刈工区）歩道整備	前橋市粕川町女刈
	26	県道四ツ塚原の郷前橋線（鼻毛石町工区）歩道整備	前橋市鼻毛石町
	27	県道大胡赤城線（苗ヶ島1期工区）現道拡幅	前橋市三夜沢町
3	28	県道前橋長瀬線（上新田町交差点工区）交差点改良	前橋市上新田町

3. 着手に向けて検討する事業

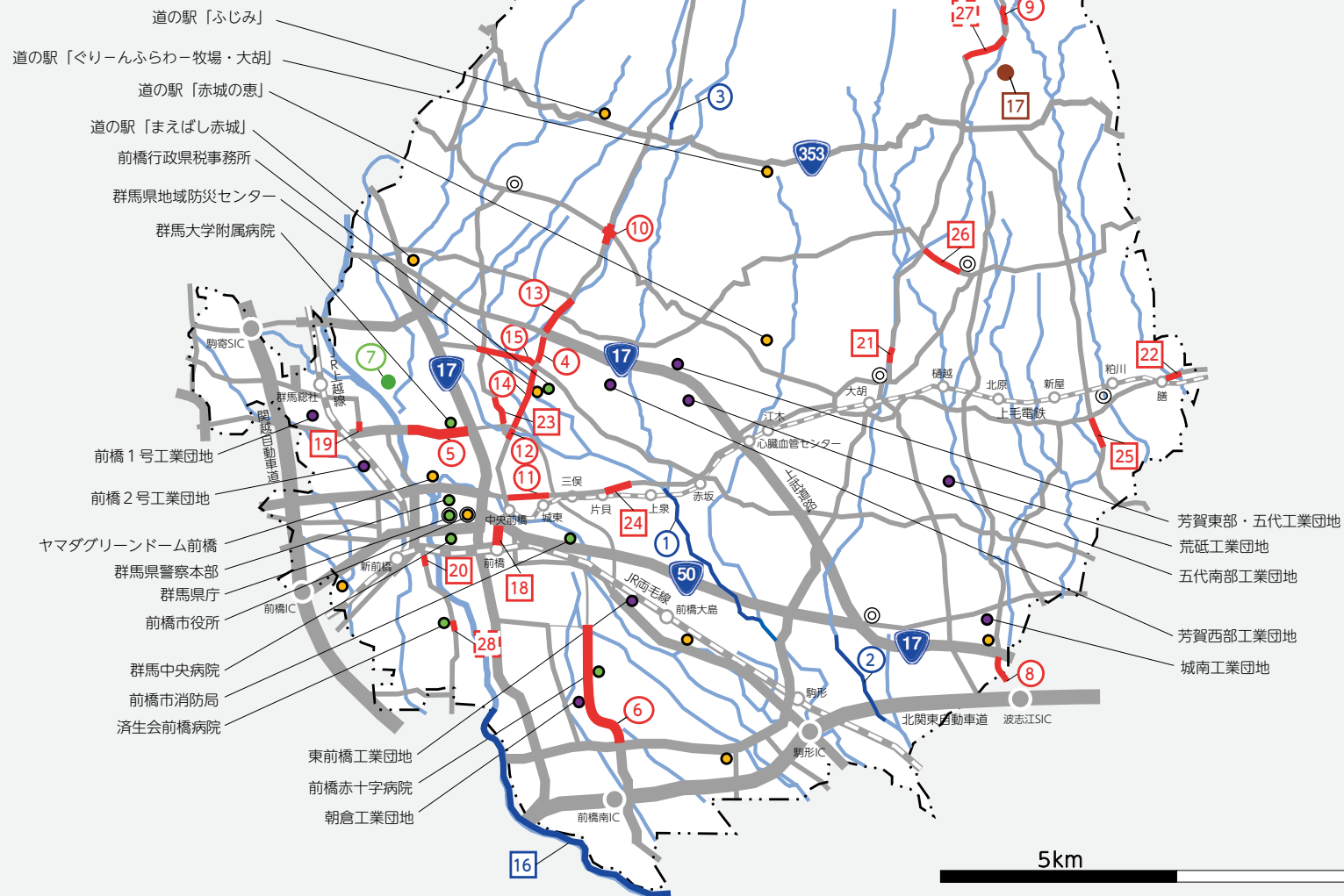
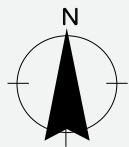
3	29	県道大胡赤城線（苗ヶ島2期工区）現道拡幅	前橋市三夜沢町
3	30	県道前橋長瀬線（上新田町交差点工区）交差点改良	前橋市上新田町

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（前橋地域）



凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水、住宅等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和11年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

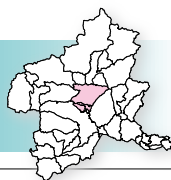
【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 主要な物流拠点（産業団地）

※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は
今後の検討の中で変更となる場合があります。

北群馬渋川地域

KITAGUNMA
SHIBUKAWA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川利根川の河川改修を推進します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道南新井前橋線のバイパス整備を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、尻谷沢の土石流対策や上中尾地区の地すべり対策等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・地域の暮らしや経済活動を支えるため、県道渋川下新田線の線形改良を推進します。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、国道353号や（都）渋川高崎線などの歩道整備を推進します。
- ・新たな産業団地へのアクセス向上など、クリーンエネルギーの拠点形成に寄与する県道前橋伊香保線（吉岡バイパス）のバイパス整備に着手します。

北群馬渋川地域の中心的事業

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

県道前橋伊香保線（吉岡バイパス）バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

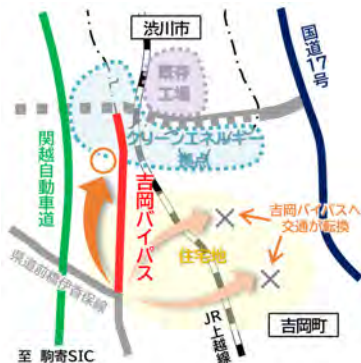
- ◆ クリーンエネルギー拠点となる新たな産業団地へのアクセスが向上します！
- ◆ こどもたちが安心して通学できる生活空間を確保します！

● どのような事業を行うのか

新たな産業団地へのアクセスの向上に寄与するバイパスを整備します。

新たな産業団地や既存工場の高速SIC等へのアクセスが向上

クリーンエネルギー構想(吉岡町)



【現状】通過交通が流入し生活道路が危険な状況



通学時の生活道路の様子（出典：駒寄小学校HP）
バイパス整備により通過交通が減少し、安全な道路空間を確保

主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	1	一級河川利根川（半田工区）河川改修	渋川市半田
	2	県道南新井前橋線（4期工区）バイパス整備	榛東村新井
	3	尻谷沢 土石流対策	渋川市行幸田
	4	下町の沢 土石流対策	渋川市金井
	5	袋沢-2 土石流対策	渋川市渋川
	6	上中尾地区 地すべり対策	渋川市村上
3	7	県道渋川下新田線（小野子工区）線形改良	渋川市小野子
	8	県道前橋伊香保線（大久保工区）歩道整備	吉岡町大久保
	9	県道高崎安中渋川線（八木原工区）歩道整備	渋川市八木原
	10	県道前橋伊香保線（上野田工区）歩道整備	吉岡町上野田
	11	国道353号（北牧工区）歩道整備	渋川市北牧
	12	（都）渋川高崎線（街中工区）歩道整備	渋川市石原

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

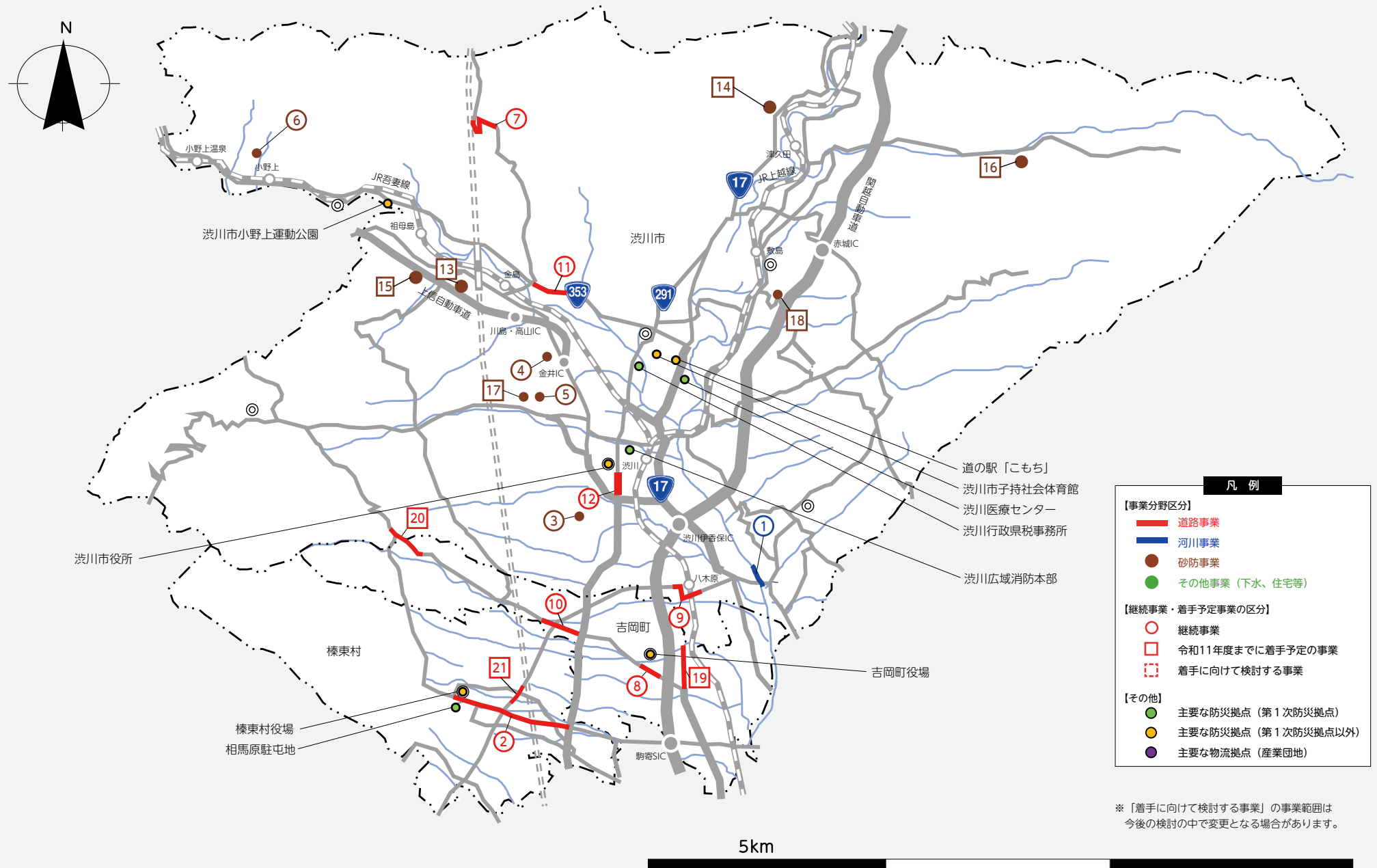
1	13	不動沢2 土石流対策	渋川市川島
	14	滝沢 土石流対策	渋川市上白井
	15	地理沢 土石流対策	渋川市祖母島
	16	前林沢 土石流対策	渋川市赤城町深山
	17	御蔭（D）-2地区 かけ崩れ対策	渋川市渋川
	18	北の沢 土石流対策	渋川市赤城町宮田
3	19	県道前橋伊香保線（吉岡バイパス）バイパス整備	吉岡町大久保
	20	県道前橋伊香保線（上野田工区）現道拡幅	吉岡町上野田～渋川市伊香保町水沢
	21	県道高崎安中渋川線（山子田工区）歩道整備	榛東村山子田

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

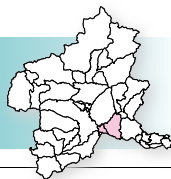
※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（北群馬渋川地域）



佐波伊勢崎地域

SAWA ISESAKI



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川利根川の河川改修等を推進します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道462号の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、高速道路へのアクセス道路である県道苗ヶ島飯土井線の整備等を推進します。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道藤岡大胡線の歩道整備等を推進します。
- ・まちなかの渋滞を緩和し、伊勢崎市を目指すウォーカブルで賑わいのあるまちづくりに寄与する、県道桐生伊勢崎線（(都)北部環状線）のバイパス整備に着手します。

佐波伊勢崎地域の中心的事業

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

県道桐生伊勢崎線（(都)北部環状線）バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 伊勢崎市街地の慢性的な渋滞が緩和され、ウォーカブルで賑わいのあるまちなかが創出されます！

● どのような事業を行うのか

まちなかの渋滞緩和に寄与するバイパスを整備します。

市街地は慢性的な渋滞

バイパス整備により市街地の渋滞を緩和し、伊勢崎市の魅力あるまちづくりを支援

▼ シンボルロード ▼



特徴的なまちなかの取組

▼ 健康づくり・子育て支援施設 ▼



伊勢崎市保健センター
(令和7年4月オープン予定)

主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	1	一級河川男井戸川 河川改修	伊勢崎市日乃出町～豊城町
	2	一級河川利根川（伊勢崎・玉村工区）河川改修	伊勢崎市柴町～玉村町上福島
	3	一級河川荊川 堤防強化	伊勢崎市境小此木
	4	一級河川広瀬川 堤防強化	伊勢崎市境中島～新栄町
2	5	国道462号（今泉町工区）電線共同溝	伊勢崎市今泉町
	6	県道前橋館林線（東本町工区）電線共同溝	伊勢崎市東本町
	7	県道伊勢崎深谷線（茂呂町二丁目交差点）交差点改良	伊勢崎市茂呂町
	8	県道苗ヶ島飯土井線（波志江スマートICアクセス）道路新設	前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
3	9	県道綿貫篠塚線（上新田・下新田工区）歩道整備	玉村町上新田～下新田
	10	県道藤岡大胡線（角刈南工区）歩道整備	玉村町角刈
	11	県道伊勢崎大胡線（波志江町工区）歩道整備	伊勢崎市波志江町
	12	県道境木島大間々線（東小保方町工区）歩道整備	伊勢崎市東小保方町
	13	県道伊勢崎大胡線（太田町工区）電線共同溝	伊勢崎市太田町
4	14	流域下水道（佐波処理区）幹線管渠整備	伊勢崎市境平塚ほか
	15	流域下水道（県央処理区）処理場整備	玉村町上之手
	16	流域下水道（佐波処理区）処理場整備	伊勢崎市境平塚ほか

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	17	一級河川利根川（前橋・高崎・玉村工区）河川改修	玉村町斎田～板井
	18	県道前橋館林線（田中島町工区）電線共同溝	伊勢崎市田中島町
3	19	県道桐生伊勢崎線（(都)北部環状線 道路区間）バイパス整備	伊勢崎市上植木本町～鹿島町
	20	県道桐生伊勢崎線（(都)北部環状線 街路区間）バイパス整備	伊勢崎市上諏訪町～上植木本町
	21	県道桐生伊勢崎線（西小保方町交差点）交差点改良	伊勢崎市西小保方町
	22	県道伊勢崎大胡線（波志江町三丁目交差点）交差点改良	伊勢崎市波志江町
	23	県道伊勢崎本庄線（堀口町交差点）交差点改良	伊勢崎市堀口町
	24	県道高崎伊勢崎線（田中町工区）歩道整備	伊勢崎市田中町

3. 着手に向けて検討する事業

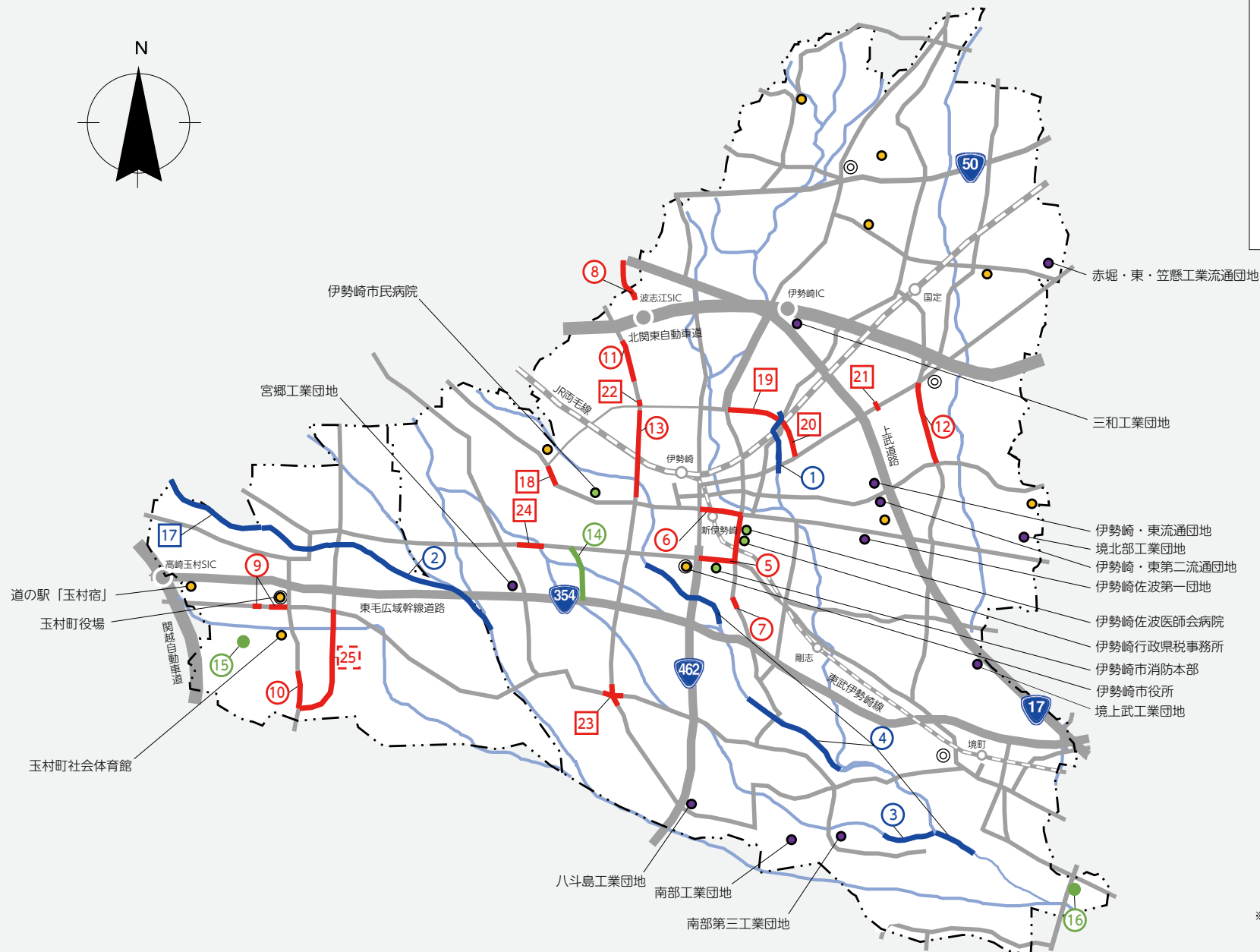
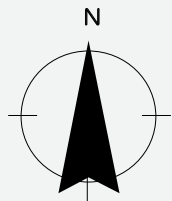
3	25	県道藤岡大胡線（角刈工区）バイパス整備	玉村町角刈～上飯島
---	----	---------------------	-----------

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（佐波伊勢崎地域）



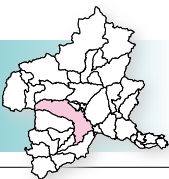
- 凡 例
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水、住宅等）
- 【継続事業・着手予定事業の区分】
- 継続事業
 - 令和11年度までに着手予定の事業
 - 着手に向けて検討する事業
- 【その他】
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）

※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は今後の検討の中で変更となる場合があります。

5km

高崎地域

TAKASAKI



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川井野川の調節池整備等を推進するほか、一級河川利根川の河川改修に着手します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、西毛広域幹線道路の整備等を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、房坂川の土石流対策やはるな郷A地区のがけ崩れ対策等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・地域間連携を強化するため、(都)前橋長瀬線の現道拡幅等を推進するとともに、交通渋滞箇所の緩和に向けた検討を行います。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道元島倉賀野線の歩道整備等を推進します。

高崎地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

西毛広域幹線道路 バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 災害時の広域的な救命救助や支援物資輸送などが確保されます！

● どのような事業を行うのか

前橋市～高崎市～安中市～富岡市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 完成イメージ ▼



(上越新幹線交差部)

事業位置図



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	施策1 オール群馬による水害対策の加速化・高度化(流域治水の推進)	1 一級河川碓氷川(高崎工区) 河川改修	高崎市乗附町・鼻高町
		2 一級河川烏川 河川改修	高崎市町屋町～下室田町
		3 一級河川井野川 調節池整備	高崎市綿貫町～大八木町
		4 一級河川鍋川(池工区) 河川改修	高崎市吉井町池
	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	5 県道高崎駒形線(上大類工区) 電線共同溝	高崎市上大類町
		6 西毛広域幹線道路(高崎工区) バイパス整備	高崎市棟高町～箕郷町下芝
		7 西毛広域幹線道路(高崎安中工区) バイパス整備	高崎市下里見町～安中市下秋間
		8 県道高崎神流秩父線(矢田工区) バイパス整備	高崎市吉井町岩崎～矢田
		9 花見町1 土石流対策	高崎市下室田町
		10 はるな郷A地区 がけ崩れ対策	高崎市箕郷町松之沢
		11 房坂川 土石流対策	高崎市上里見町
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	12 (都)前橋長瀬線(高崎工区) 現道拡幅	高崎市綿貫町～岩鼻町
		13 (都)高崎前橋線 現道拡幅	高崎市江木町～芝塚町
	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	14 国道254号(下長根工区) 歩道整備	高崎市吉井町下長根
		15 県道井野停車場線(井野町工区) 歩道整備	高崎市井野町
		16 県道高崎東吾妻線(浜川町工区) 歩道整備	高崎市浜川町
		17 県道元島倉賀野線(倉賀野町工区) 歩道整備	高崎市倉賀野町

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	18 一級河川利根川(前橋・高崎・玉村工区) 河川改修	高崎市中島町～萩原町
		19 県道高崎神流秩父線(新後閑町工区) 電線共同溝	高崎市新後閑町
		20 県道高崎神流秩父線(東谷工区) 孤立対策	高崎市吉井町東谷
		21 国道354号(台町工区) 電線共同溝	高崎市台町
		22 県道藤木高崎線(片岡町工区) 電線共同溝	高崎市片岡町
2	施策1 予防保全に基づく長寿命化	23 相間-1地区 がけ崩れ対策	高崎市倉淵町水沼
		24 県道前橋長瀬線(柳瀬橋工区) 老朽橋梁架替	高崎市岩鼻町～藤岡市中島
		25 東毛広域幹線道路(綿貫町北交差点) 渋滞対策	高崎市綿貫町
		26 県道前橋高崎線(井野町交差点) 交差点改良	高崎市井野町
		27 県道前橋箕郷線(金古町工区) 歩道整備	高崎市金古町
3	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	28 県道前橋安中富岡線(下大島町工区) 歩道整備	高崎市下大島町
		29 県道高崎安中渋川線(箕郷町西明屋工区) 歩道整備	高崎市箕郷町西明屋

3. 着手に向けて検討する事業

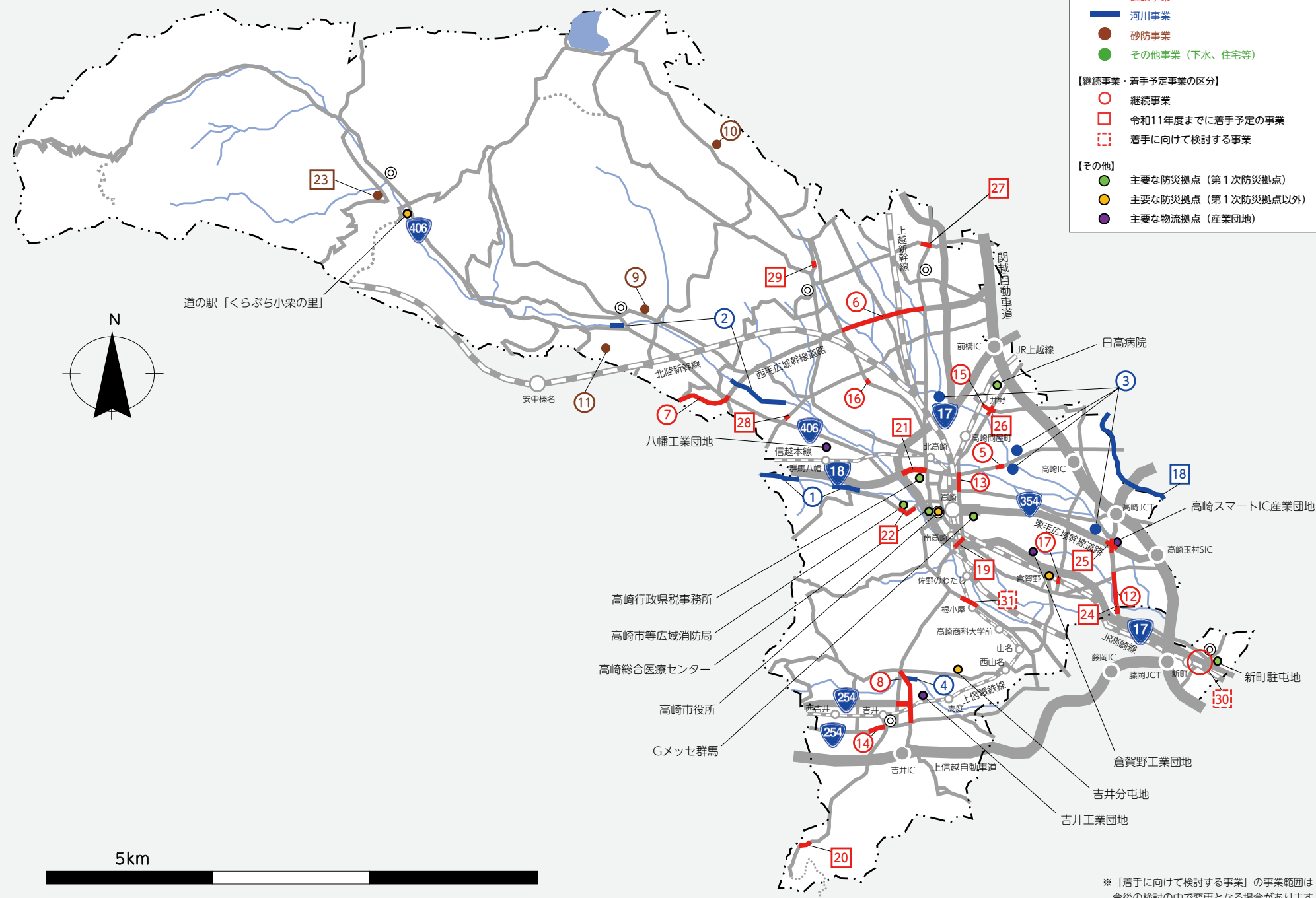
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	30 新町駅周辺 渋滞対策等	高崎市新町
		31 県道寺尾藤岡線(寺尾根小屋工区) 歩道整備	高崎市寺尾町～根小屋町

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

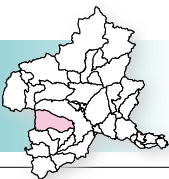
主要事業箇所図（高崎地域）



※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は
今後の検討の中で変更となる場合があります。

安中地域

ANNAKA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川碓氷川の河川改修等を推進します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道18号（旧道）の落石対策や西毛広域幹線道路の整備を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、中関地区の地すべり対策を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・学校周辺や市街地等を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道長久保郷原線や県道磯部停車場上野尻線の歩道整備を推進します。

安中地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

西毛広域幹線道路 バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 災害時の広域的な救命救助や支援物資輸送などが確保されます！

● どのような事業を行うのか

前橋市～高崎市～安中市～富岡市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 完成イメージ ▼



(碓氷川付近)

事業位置図



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業^{*1}

政 策 施 策	No.	事 業 名	所 在 地
1	施策1 オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）	1 一級河川碓氷川（安中工区）河川改修	安中市板鼻～中宿
		2 一級河川碓氷川 河床低下対策	安中市原市～松井田町横川
	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	3 国道18号（旧道）落石対策	安中市松井田町坂本
		4 西毛広域幹線道路（高崎安中工区）バイパス整備	高崎市下里見町～安中市下秋間
		5 西毛広域幹線道路（安中富岡工区（道路区間））バイパス整備	安中市安中～富岡市上高尾
		6 西毛広域幹線道路（安中富岡工区（街路区間））バイパス整備	安中市安中一丁目～二丁目
		7 中関地区 地すべり対策	安中市西上秋間
3	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	8 県道長久保郷原線（小日向工区）歩道整備	安中市松井田町小日向
		9 県道磯部停車場上野尻線（下磯部工区）歩道整備	安中市下磯部

2. 令和11年度までに着手予定の事業^{*2}

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	10 県道一本木平小戸戸安中線（西上秋間工区）孤立対策	安中市西上秋間
		11 県道松井田軽井沢線（北野牧工区）孤立対策	安中市松井田町北野牧
		12 県道北軽井沢松井田線（坂本工区）孤立対策	安中市松井田町坂本
		13 中原地区 がけ崩れ対策	安中市安中
		14 矢野沢川・大関沢 土石流対策	安中市松井田町横川
		15 井戸入沢 土石流対策	安中市松井田町横川

3. 着手に向けて検討する事業

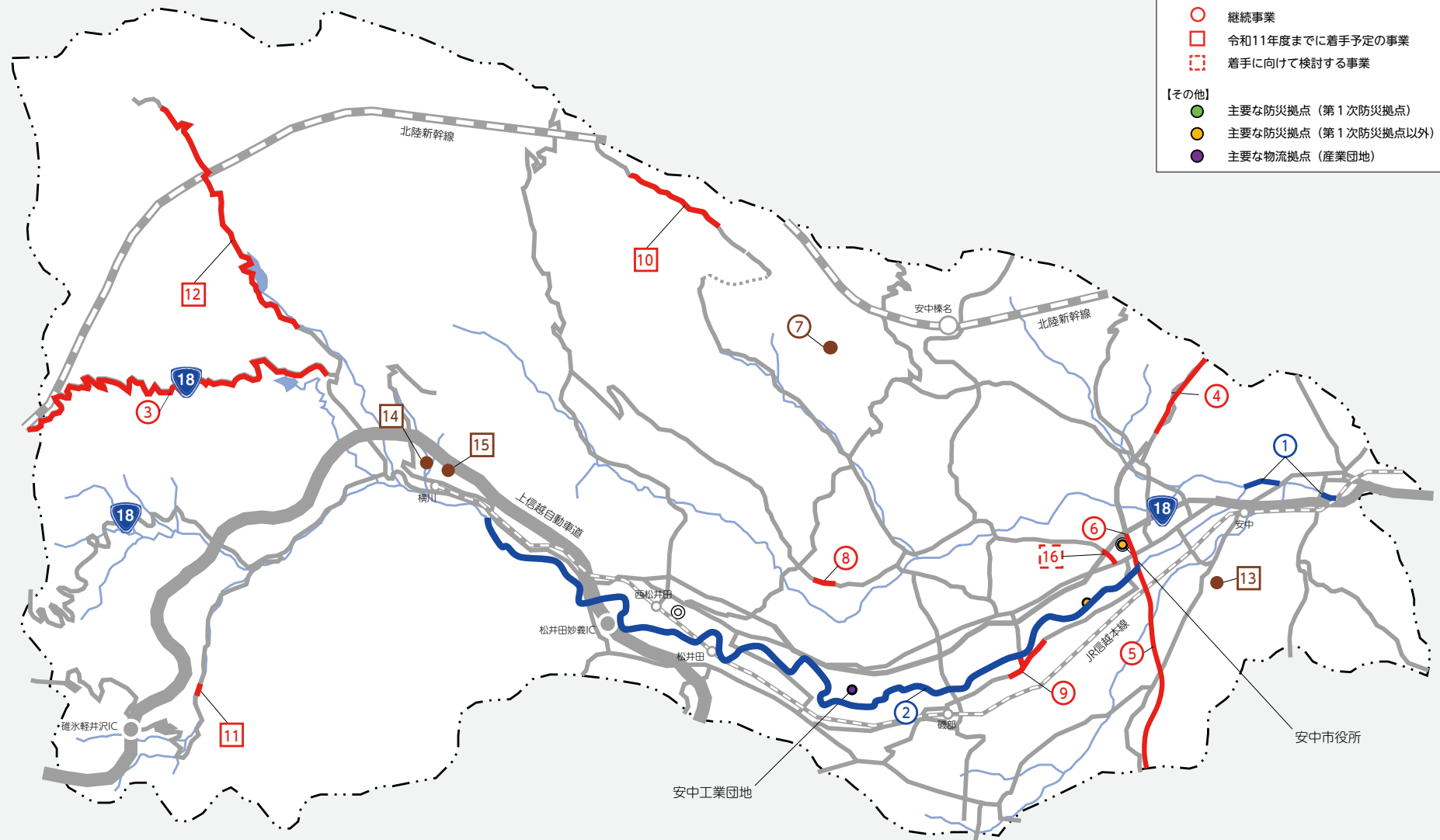
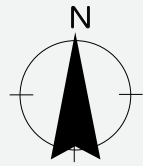
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	16 県道下仁田安中倉沢線（（都）上の尻後閑線）交通安全対策	安中市安中一丁目
---	---------------------------	--------------------------------	----------

^{*1} 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

^{*2} 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（安中地域）



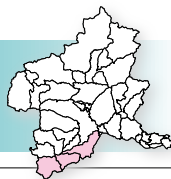
- 凡 例
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水、住宅等）
- 【継続事業・着手予定事業の区分】
- 継続事業
 - 令和11年度までに着手予定の事業
 - 着手に向けて検討する事業
- 【その他】
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）

5km

※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は今後の検討の中で変更となる場合があります。

多野藤岡地域

TANO FUJIOKA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・土砂災害リスクを軽減するため、森戸沢の土石流対策や大橋1-1地区のがけ崩れ対策、駒留地区の地すべり対策等を推進します。
- ・能登半島地震を踏まえ、災害時に道路の寸断により孤立集落が発生するおそれのある県道会場鬼石線の孤立対策等に着手します。

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

- ・安全・安心な通行を確保するとともに、河川断面の確保による水害リスクを低減するため、完成から90年以上が経過し、老朽化した県道前橋長瀬線の柳瀬橋の架け替えに着手します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道前橋長瀬線の歩道整備を推進します。

多野藤岡地域の中心的事業

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

県道前橋長瀬線（柳瀬橋工区）老朽橋梁架替事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 老朽橋の架け替えにより、安全・安心な橋梁に更新します！
- ◆ 烏川の河川断面の確保により、水害リスクが低減します！

● どのような事業を行うのか

老朽化した柳瀬橋を架け替えます。

▼ 老朽橋の様子 ▼



橋脚の洗掘

床版の腐食（断面欠損）



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	1	大橋1-1地区 がけ崩れ対策	藤岡市坂原
	2	駒留地区 地すべり対策	藤岡市下日野
	3	向屋2地区 がけ崩れ対策	上野村新羽
	4	乙母地区 がけ崩れ対策	上野村乙母
	5	塩之沢9地区 がけ崩れ対策	上野村榎原
	6	三岐(C)地区 がけ崩れ対策	上野村榎原
	7	森戸沢 土石流対策	上野村乙父
	8	沢口沢 土石流対策	藤岡市高山
	9	野栗4地区 がけ崩れ対策	上野村新羽
	10	保美濃山地区 地すべり対策	藤岡市保美濃山
3	11	県道藤岡本庄線（中栗須藤岡境交差点）交差点改良	藤岡市中栗須
	12	県道下仁田上野線（上野工区）現道拡幅	上野村榎原
	13	県道上日野藤岡線（黒石工区）バイパス整備	藤岡市下日野
	14	県道前橋長瀬線（中神田工区）歩道整備	藤岡市神田

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	15	県道会場鬼石線（三波川工区）孤立対策	藤岡市三波川・上日野
		16	国道299号（神ヶ原工区）孤立対策	神流町神ヶ原
		17	国道299号（榎原工区）孤立対策	上野村榎原
		18	県道富岡神流線（塩沢工区）孤立対策	神流町塩沢
		19	県道上野小海線（榎原工区）孤立対策	上野村榎原
		20	県道藤岡本庄線（藤岡第二工区）電線共同溝	藤岡市藤岡
		21	松葉沢-1、2 土石流対策	藤岡市上日野
		22	鹿島7地区 がけ崩れ対策	藤岡市上日野
		23	会場地区 がけ崩れ対策	藤岡市上日野
		24	塩平沢 土石流対策	藤岡市下日野
2	施策1 予防保全に基づく長寿命化	25	県道前橋長瀬線（柳瀬橋工区）老朽橋梁架替	高崎市岩鼻町～藤岡市中島
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	26	県道下仁田上野線（上野2工区）現道拡幅	上野村榎原
		27	県道寺尾藤岡線（藤岡工区）歩道整備	藤岡市藤岡
		28	県道藤岡大胡線（岡之郷工区）歩道整備	藤岡市岡之郷

3. 着手に向けて検討する事業

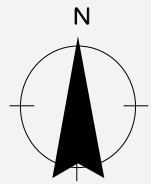
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	29	県道寺尾藤岡線（篠塚工区）バイパス整備	藤岡市篠塚
		30	（都）新町駅南通り線 道路新設	藤岡市岡之郷

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

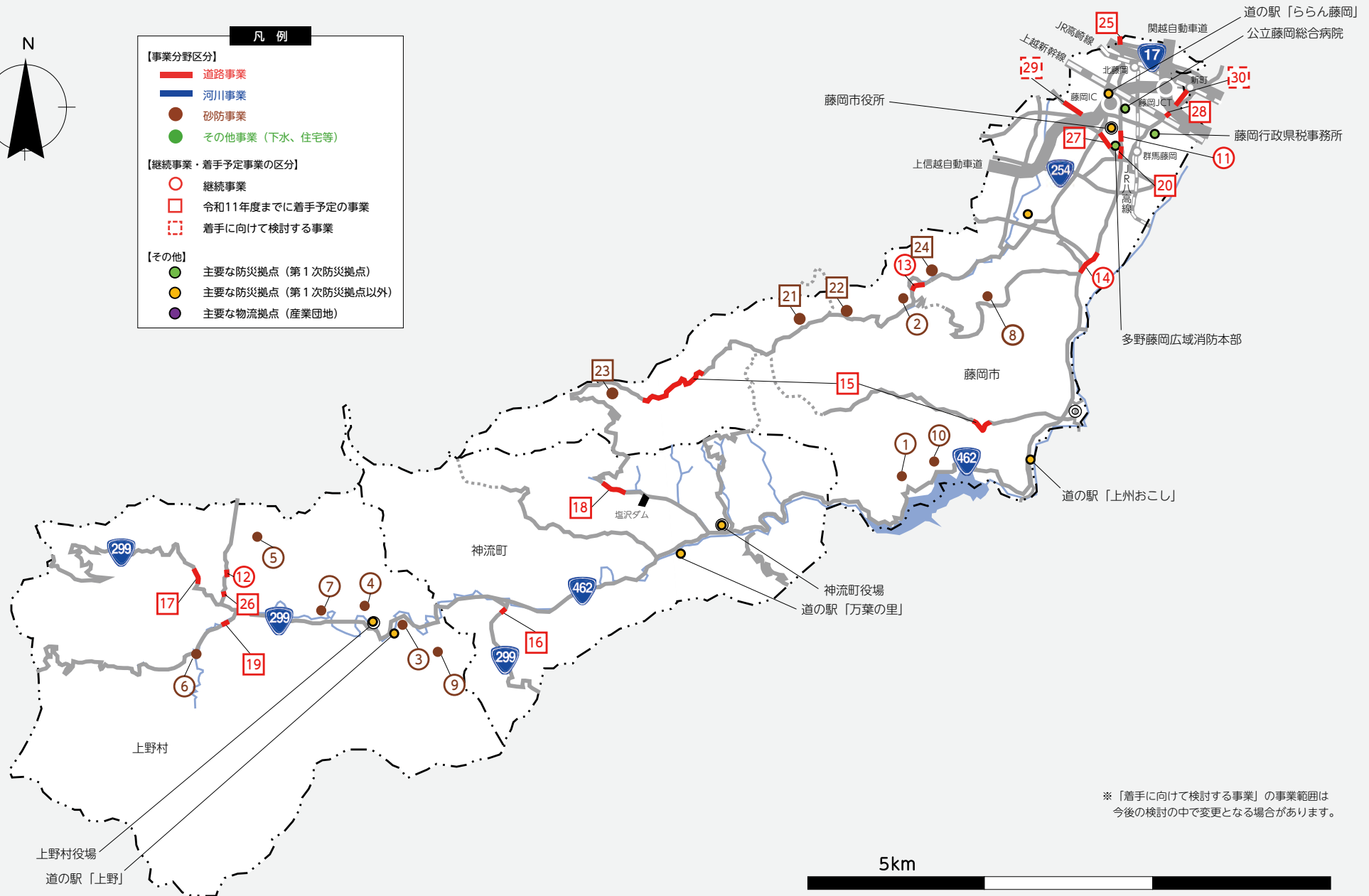
【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（多野藤岡地域）



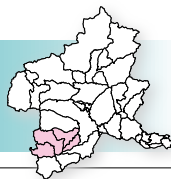
- 凡 例**
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水、住宅等）
- 【継続事業・着手予定事業の区分】
- 継続事業
 - 令和11年度までに着手予定の事業
 - 着手に向けて検討する事業
- 【その他】
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）



※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は今後の検討の中で変更となる場合があります。

甘楽富岡地域

KANRA TOMIOKA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川蚊沼川の河川改修等を推進します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、西毛広域幹線道路の整備等を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、夏内沢の土石流対策や内匠東地区のがけ崩れ対策、内匠地区の地すべり対策等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・周辺地域との連携を強化し交流促進を図るため、県道下仁田軽井沢線の現道拡幅等を推進します。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道富岡神流線の歩道整備を推進します。

甘楽富岡地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

西毛広域幹線道路 バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 災害時の広域的な救命救助や支援物資輸送ルートなどが確保されます！

● どのような事業を行うのか

前橋市～高崎市～安中市～富岡市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 完成イメージ ▼



事業位置図



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	1	一級河川蚊沼川 放水路整備	富岡市中沢～蚊沼
	2	一級河川蚊沼川 河川改修	富岡市神農原
	3	国道254号 (東町工区) 現道拡幅	下仁田町下仁田
	4	西毛広域幹線道路 (安中富岡工区) バイパス整備	安中市安中～富岡市上高尾
	5	滝の入沢 土石流対策	下仁田町下仁田
	6	清泉寺沢 土石流対策	下仁田町下仁田
	7	裏根川 土石流対策	甘楽町秋畑
	8	根小屋1地区 がけ崩れ対策	下仁田町西野牧
	9	黒川A 土石流対策	富岡市黒川
	10	黒川B 土石流対策	富岡市黒川
	11	夏内沢 土石流対策	下仁田町青倉
	12	内匠東地区 がけ崩れ対策	富岡市内匠
	13	千原2地区 がけ崩れ対策	南牧村千原
	14	内匠地区 地すべり対策	富岡市内匠
	15	大萱沢 土石流対策	下仁田町下郷
	16	大倉3地区 がけ崩れ対策	南牧村檜沢
3	17	村道上大線 現道拡幅 (代行)	南牧村熊倉
	18	県道下仁田軽井沢線 (和美峠工区) 現道拡幅	下仁田町西野牧
	19	県道金井高崎線 (金井工区) 現道拡幅	甘楽町金井～高崎市吉井町片山
	20	県道富岡神流線 (善慶寺工区) 歩道整備	甘楽町善慶寺

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	21	県道富岡神流線 (秋畑工区) 孤立対策	甘楽町秋畑
	22	県道下仁田軽井沢線 (西野牧工区) 孤立対策	下仁田町西野牧
	23	県道小平下仁田線 (青倉工区) 孤立対策	下仁田町青倉
	24	県道黒滝山小沢線 (大塩沢工区) 孤立対策	南牧村大塩沢
	25	県道秋畑富岡線 (岩染工区) 孤立対策	富岡市岩染
	26	県道下仁田浅科線 (南野牧工区) 孤立対策	下仁田町南野牧
	27	県道下仁田佐久穂線 (羽沢工区) 孤立対策	南牧村羽沢
	28	県道南蛇井下仁田線 (下仁田工区) 孤立対策	下仁田町下仁田
	29	県道中野谷富岡線 (上黒岩工区) 孤立対策	富岡市上黒岩
	30	南蛇井助学寺沢A 土石流対策	富岡市中沢
	31	下町-1地区 がけ崩れ対策	下仁田町下仁田
	32	北谷沢-2 土石流対策	富岡市妙義町下高田
	33	上宿沢 土石流対策	富岡市妙義町菅原
	34	横間沢 土石流対策	下仁田町南野牧
	35	県道富岡神流線 (小幡工区) 電線共同溝	甘楽町小幡
3	36	西毛広域幹線道路 (富岡工区) 4車線化	富岡市上高尾～富岡

3. 着手に向けて検討する事業

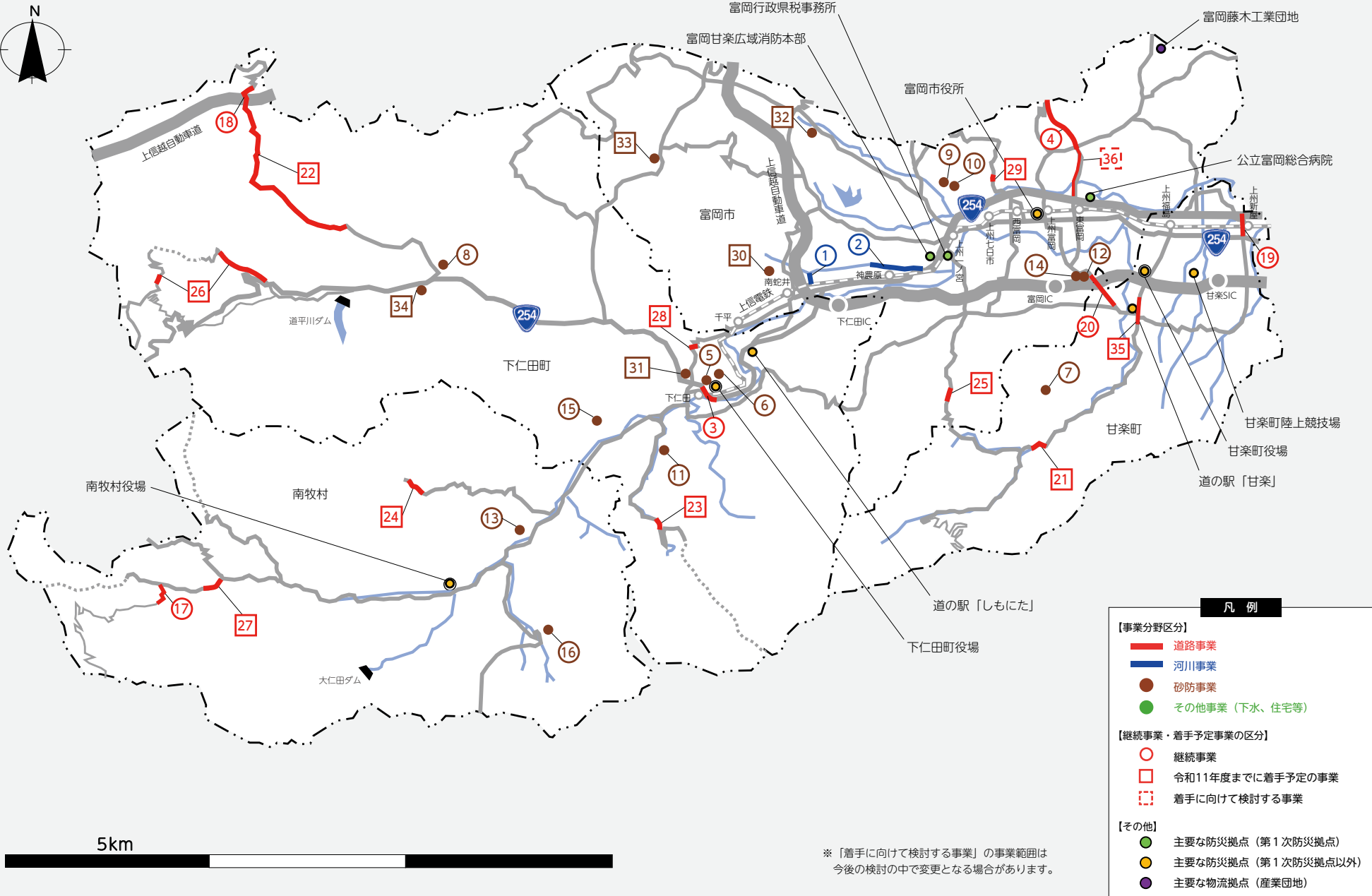
3	37	西毛広域幹線道路 (富岡工区) 4車線化	富岡市上高尾～富岡
---	----	----------------------	-----------

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

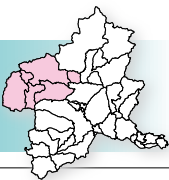
※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（甘楽富岡地域）



吾妻地域

AGATSUMA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道292号の落石対策や上信自動車道の整備等を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、与喜屋沢の土石流対策、神前地区のがけ崩れ対策、生須地区の地すべり対策等を推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るため、国道146号の現道拡幅や国道292号の登坂車線整備等を推進します。
- ・物流の効率化や観光振興への効果を検証し、上信自動車道の県境区間については、国や長野県と連携して整備の検討を行います。

吾妻地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

上信自動車道 バイパス整備事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 災害時にも機能する、ネットワークの多重性を確保します！
- ◆ 速達性の向上により、迅速な救急医療の提供範囲が拡大します！

● どのような事業を行うのか

地域の防災機能を向上させるため、渋川市～嬬恋村（県境付近）を結ぶバイパスを整備します。



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業^{※1}

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進		
	1	国道292号（草津工区）落石対策	草津町草津
	2	上信自動車道（吾妻東バイパス）バイパス整備	東吾妻町植栗～厚田
	3	県道植栗伊勢線 現道拡幅	東吾妻町植栗～中之条町伊勢町
	4	上信自動車道（吾妻東バイパス2期）バイパス整備	東吾妻町箱島～植栗
	5	上信自動車道（長野原嬬恋バイパス）バイパス整備	長野原町与喜屋～嬬恋村鎌原
	6	与喜屋沢 土石流対策	長野原町与喜屋
	7	生須地区 地すべり対策	中之条町生須
	8	橋横倉沢 土石流対策	東吾妻町箱島
	9	熊野沢地区 地すべり対策	中之条町蟻川
	10	諏訪前地区 がけ崩れ対策	東吾妻町原町
	11	判形5区1地区 がけ崩れ対策	高山村中山
	12	鳴瀬沢 土石流対策	東吾妻町大戸
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備		
	14	国道292号（洞口工区）登坂車線	長野原町大津
	15	国道406号（大戸工区）現道拡幅	東吾妻町大戸
	16	県道大笹北軽井沢線（鎌原工区）現道拡幅	嬬恋村鎌原
	17	国道146号（古森3期工区）現道拡幅（浜岩橋含む）	長野原町羽根尾～古森
	18	県道下沢渡原町線（原町工区）現道拡幅	東吾妻町原町
	19	国道353号（伊勢町工区）歩道整備	中之条町伊勢町
施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり			

2. 令和11年度までに着手予定の事業^{※2}

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進		
	20	上信自動車道（嬬恋バイパス）バイパス整備	嬬恋村鎌原～田代
	21	県道大前須坂線（干俣工区）孤立対策	嬬恋村干俣
	22	県道牧干俣線（干俣工区）孤立対策	嬬恋村干俣
	23	国道353号（四万工区）孤立対策	中之条町四万
	24	諏訪ノ久保沢 土石流対策	東吾妻町箱島
	25	坪井1地区 がけ崩れ対策	長野原町大津
	26	御堂入沢 土石流対策	長野原町大津
	27	三原(C)地区 がけ崩れ対策	嬬恋村三原
	28	沢尻沢 土石流対策	東吾妻町三島
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備		
	29	寺裏沢 土石流対策	中之条町四万
	30	国道292号（赤岩出立工区）現道拡幅	中之条町赤岩
	31	県道下沢渡原町線（中之条工区）現道拡幅	中之条町山田

3. 着手に向けて検討する事業

3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備		
	32	国道406号（萩生2期工区）バイパス整備	東吾妻町萩生
	33	県道中之条草津線（湯原工区）バイパス整備	中之条町上沢渡
	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり		
	34	国道292号（草津工区）歩道整備	草津町草津

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（吾妻地域）

凡 例

【事業分野区分】

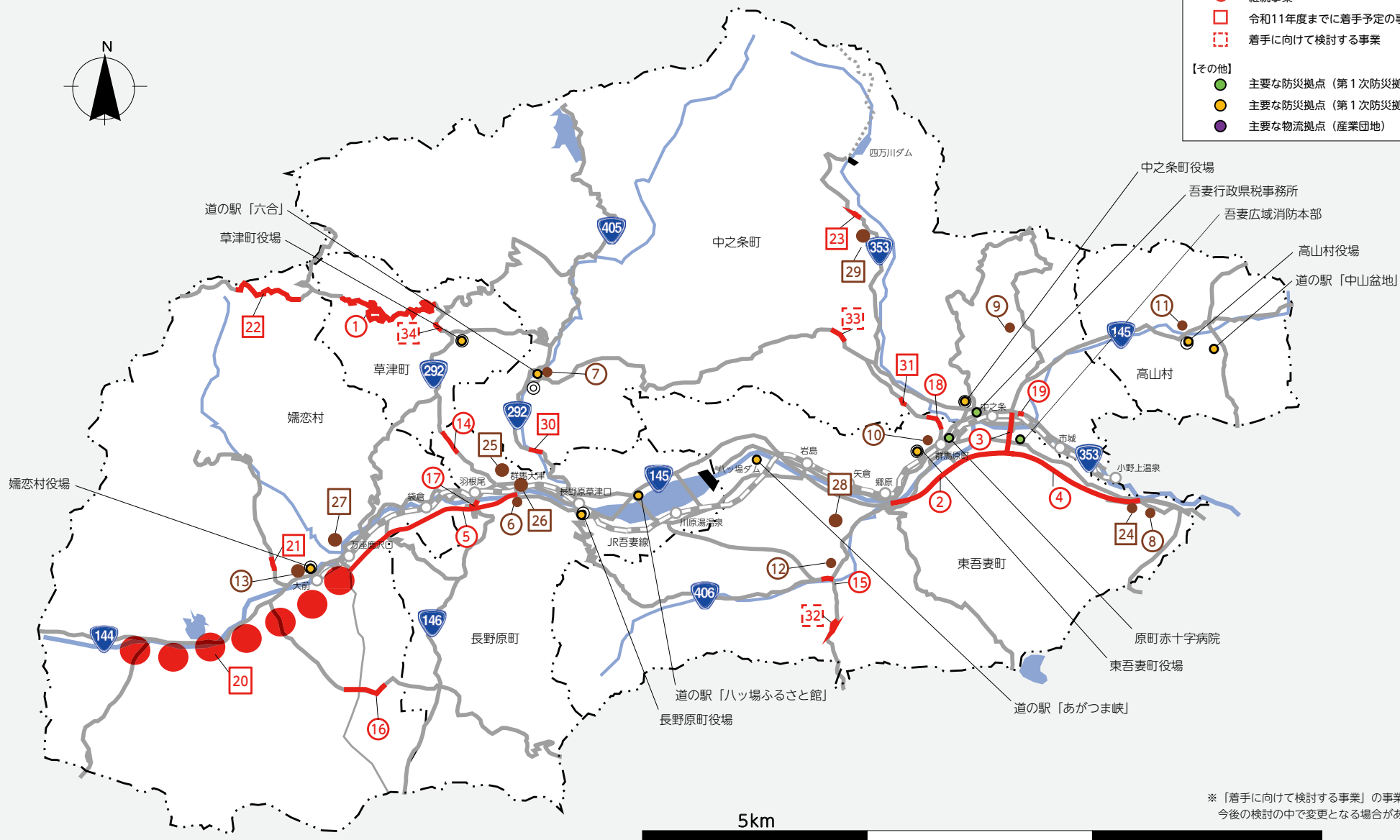
- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水、住宅等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和11年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

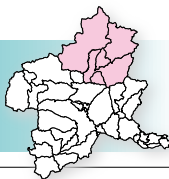
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は
今後の検討の中で変更となる場合があります。

利根沼田地域

STONE NUMATA



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道平川横塚線等の落石対策や県道水上片品線でスノーシェッドの整備を推進します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、大芦沢の土石流対策や伊香原1-2地区のがけ崩れ対策等を推進します。

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

- ・安全・安心な通行を確保するため、完成から約90年が経過し、老朽化した県道戸鹿野下之町線の戸鹿野橋や完成から約60年が経過する県道沼田大間々線の赤城根橋の架け替えを推進します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・豊富な観光資源を活かした更なる観光振興を促すため、高速道路へのアクセス道路である県道昭和インター線や、県道富士山横塚線の整備により、円滑な移動を可能にするなど、周遊性を向上させます。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道平川横塚線の歩道整備を推進します。

利根沼田地域の中心的事業

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

県道戸鹿野下之町線 戸鹿野橋 老朽橋梁架替事業

● どのような未来につながるのか

- ◆ 老朽橋の架け替えにより、大型車でも安全に通行できます！
- ◆ 救急医療機関へのアクセスが向上します！

● どのような事業を行うのか

橋梁の健全性確保、重量制限（14t）の解消のため、戸鹿野橋を架け替えます。



▼ 完成イメージ ▼



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業^{*1}

政策 施策	No.	事業名	所在地
1 施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	1	県道平川横塚線 落石対策	川場村川場湯原
	2	県道水上片品線（みなかみ工区）落石対策	みなかみ町藤原ほか
	3	県道水上片品線（片品工区）落石対策	片品村戸倉
	4	県道水上片品線（戸倉4工区）スノーシェッド整備	片品村戸倉
	5	葦ノ沢 土石流対策	みなかみ町相俣
	6	平出沢 土石流対策	みなかみ町藤原
	7	大芦沢 土石流対策	みなかみ町藤原
	8	夏保沢 土石流対策	沼田市白沢町生枝
	9	下西ノ沢 土石流対策	みなかみ町綱子
	10	奈女沢 土石流対策	みなかみ町奈女沢
	11	小日向1地区 がけ崩れ対策	みなかみ町小日向
	12	塩沢 土石流対策	みなかみ町小川
	13	赤谷3地区ほか がけ崩れ対策	みなかみ町相俣
	14	阿能川地区 がけ崩れ対策	みなかみ町阿能川
	15	東神楽沢 土石流対策	みなかみ町羽場
	16	伊香原1-2地区 がけ崩れ対策	沼田市利根町平川
	17	十二河原沢ほか 土石流対策	みなかみ町新巻
	18	町並地区 がけ崩れ対策	みなかみ町月夜野
2 施策1 予防保全に基づく長寿命化	19	県道戸鹿野下之町線（戸鹿野橋）老朽橋梁架替	沼田市屋形原町
	20	県道沼田大間々線（赤城根橋）老朽橋梁架替	沼田市利根町園原
3 施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	21	県道昭和インター線（森下工区）バイパス整備	昭和村森下
	22	国道120号（下平工区）バイパス整備	片品村下平～沼田市利根町平川
	23	県道富士山横塚線（横塚工区）現道拡幅	沼田市横塚町
	24	国道120号（追貝工区）現道拡幅	沼田市利根町追貝
3 施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	25	県道平川横塚線（川場湯原工区）歩道整備	川場村川場湯原

2. 令和11年度までに着手予定の事業^{*2}

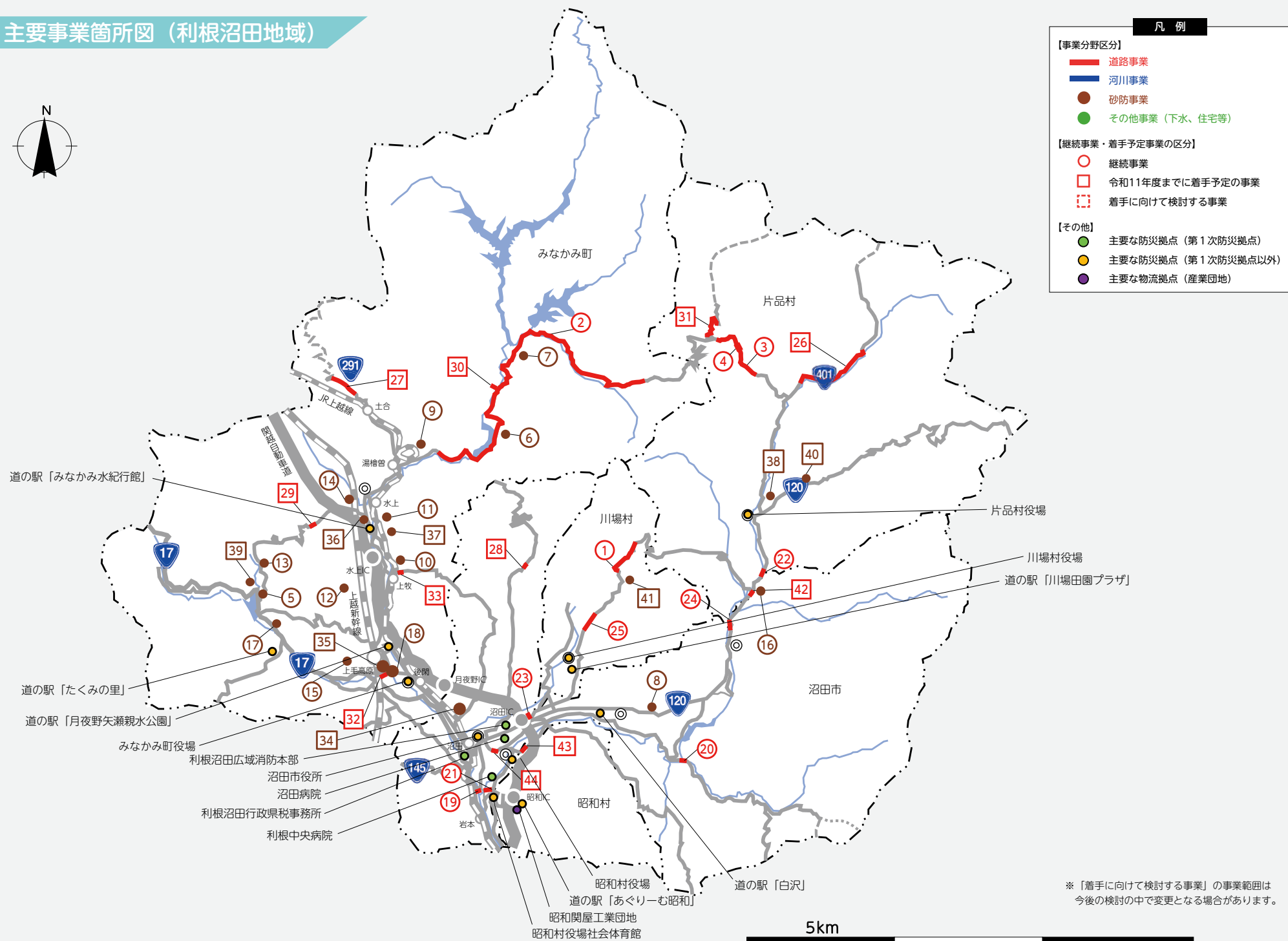
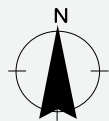
1 施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	26	国道401号（戸倉工区）孤立対策	片品村戸倉
	27	国道291号（湯桧曾工区）孤立対策	みなかみ町湯桧曾
	28	県道上発知材木町線（上発知工区）孤立対策	沼田市上発知町
	29	県道相俣湯原線（阿能川工区）孤立対策	みなかみ町阿能川
	30	県道宝川久保線（藤原工区）孤立対策	みなかみ町藤原
	31	県道尾瀬ヶ原土出線（戸倉工区）孤立対策	片品村戸倉
	32	県道小日向沼田線（上津工区）孤立対策	みなかみ町上津
	33	県道道木佐山沼田線（上牧工区）孤立対策	みなかみ町上牧
	34	井土上（下）地区 がけ崩れ対策	沼田市井土上町
	35	上組1地区 がけ崩れ対策	みなかみ町月夜野
	36	湯原地区 がけ崩れ対策	みなかみ町湯原
	37	天神腰沢 土石流対策	みなかみ町小日向
	38	半瀬2地区 がけ崩れ対策	片品村鎌田
	39	新田浦1地区 がけ崩れ対策	みなかみ町猿ヶ京温泉
	40	大沢川 土石流対策	片品村東小川
	41	ふなくぼ沢 土石流対策	川場村川場湯原
3 施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	42	国道120号（平川交差点）交差点改良	沼田市利根町平川
	43	県道沼田赤城線（中内出工区）歩道整備	昭和村糸井
	44	県道沼田大間々線（栄町工区）歩道整備	沼田市栄町

^{*1} 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

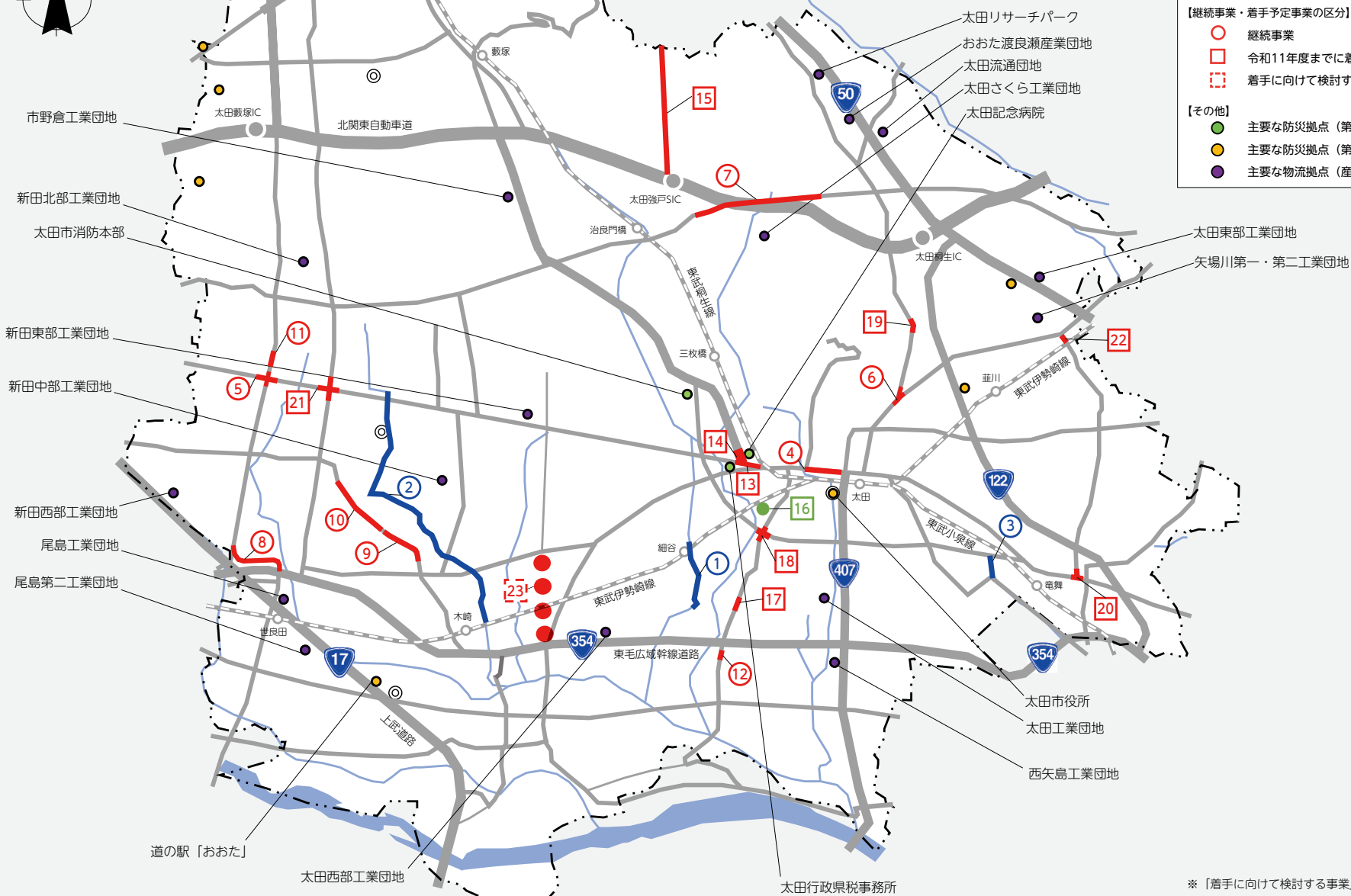
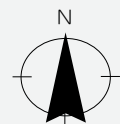
^{*2} 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（利根沼田地域）



※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は
今後の検討の中で変更となる場合があります。

主要事業箇所図（太田地域）



凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水、住宅等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和11年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

【その他】

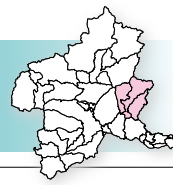
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）

※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は今後の検討の中で変更となる場合があります。

5km

桐生・みどり地域

KIRYU MIDORI



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、渡良瀬幹線道路のバイパス整備を推進するとともに、高速道路や防災拠点へのアクセス向上や太田市との医療連携を強化するため、県道太田桐生線のバイパス整備に着手します。
- ・土砂災害リスクを軽減するため、仙ヶ沢の土石流対策や北中裏(B)地区のがけ崩れ対策等を推進します。
- ・能登半島地震を踏まえ、災害時に道路の寸断により孤立集落が発生するおそれのある県道沢入桐生線の孤立対策等に着手します。

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、(都)赤岩線の歩道整備や県道西桐生停車場線の電線共同溝の整備等を推進します。

桐生・みどり地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

渡良瀬幹線道路 バイパス整備事業

- どのような未来につながるのか
 - ◆ 災害時にも機能する安全な道路が確保されます！
 - ◆ 高速ICへのアクセスが向上します！
- どのような事業を行うのか

太田市～桐生市～みどり市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 完成イメージ ▼



政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

県道太田桐生線 バイパス整備事業

- どのような未来につながるのか
 - ◆ 防災拠点となる高速PAへのアクセスが向上します！
 - ◆ 2.5次保健医療圏の連携が強化されます！
- どのような事業を行うのか

桐生市と太田市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 完成イメージ ▼



主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	1 渡良瀬幹線道路(塩原工区) バイパス整備	みどり市大間々町下神梅～塩原
		2 渡良瀬幹線道路(新里笠懸工区) バイパス整備	みどり市大間々町桐原～笠懸町鹿
		3 北中裏(B)地区 がけ崩れ対策	桐生市平井町
		4 童神沢 土石流対策	みどり市東町花輪
		5 深山沢 土石流対策	桐生市梅田町
		6 細貝戸沢 土石流対策	みどり市大間々町浅原
		7 西久方町一丁目4-2地区 がけ崩れ対策	桐生市西久方町
		8 仙ヶ沢 土石流対策	桐生市梅田町
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	9 県道太田大間々線(阿左美宿交差点) 交差点改良	みどり市笠懸町阿左美
		10 県道小平塩原線(滝ノ上工区) バイパス整備	みどり市大間々町浅原～塩原
	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	11 県道西桐生停車場線(宮前町工区) 電線共同溝	桐生市宮前町～末広町
		12 県道大間々世良田線(鹿工区) 歩道整備	みどり市笠懸町鹿
		13 県道小俣桐生線(菱町工区) 歩道整備	桐生市菱町
		14 (都)赤岩線 歩道整備	桐生市宮前町～堤町

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	15 県道太田桐生線(太田強戸スマートICアクセス) バイパス整備	太田市北金井町～桐生市広沢町
		16 県道沢入桐生線(梅田工区) 孤立対策	桐生市梅田町
		17 県道大間々上白井線(黒保根工区) 孤立対策	桐生市黒保根町
		18 県道上藤生大州線(梅田工区) 孤立対策	桐生市梅田町
		19 県道根利八木原大間々線(八木原工区) 孤立対策	桐生市黒保根町
		20 県道沢入桐生線(草木工区) 孤立対策	みどり市東町草木
		21 県道沢入桐生線(沢入工区) 孤立対策	みどり市東町沢入
		22 堤町一丁目4地区 がけ崩れ対策	桐生市堤町
		23 荒神山地区 がけ崩れ対策	桐生市梅田町
		24 宮本町四丁目2地区 がけ崩れ対策	桐生市宮本町
		25 宮本町四丁目5地区 がけ崩れ対策	桐生市宮本町
		26 岡ノ上団地地区 がけ崩れ対策	桐生市広沢町
		27 大門1-1地区 がけ崩れ対策	桐生市梅田町
		28 麦生小路3地区 がけ崩れ対策	桐生市川内町
		29 中ノ沢 土石流対策	みどり市東町花輪
		30 下折ノ内ノ沢 土石流対策	みどり市大間々町小平
3	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	31 境沢 土石流対策	みどり市東町草木
		32 上境沢 土石流対策	みどり市東町草木
		33 後山沢 土石流対策	桐生市梅田町
		34 赤地1地区 がけ崩れ対策	桐生市川内町
		35 沢ノ入沢 土石流対策	桐生市川内町
		36 県道桐生田沼線(天神町工区) 歩道整備	桐生市天神町

3. 着手に向けて検討する事業

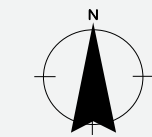
1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	37 渡良瀬幹線道路(大間々工区) バイパス整備	みどり市大間々町桐原
		38 県道太田大間々線(諸町交差点) 交差点改良	みどり市大間々町大間々
		39 国道122号(大間々6丁目交差点) 交差点改良	みどり市大間々町大間々
		40 国道122号 景観整備	みどり市大間々町大間々
3	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	41 県道桐生岩舟線(境野町工区) 歩道整備	桐生市境野町
		42 県道太田大間々線(阿左美工区) 歩道整備	みどり市笠懸町阿左美

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（桐生・みどり地域）



黒保根支所
道の駅「くろほね・やまびこ」

桐生行政県税事務所
みどり市役所
笠懸野文化ホール

桐生地方卸売市場

桐生市消防本部
桐生市役所
桐生厚生総合病院

5km

凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水、住宅等）

【継続事業・着手予定事業の区分】

- 継続事業
- 令和11年度までに着手予定の事業
- 着手に向けて検討する事業

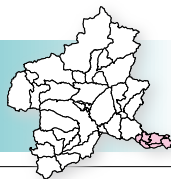
【その他】

- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）

※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は今後の検討の中で変更となる場合があります。

邑楽館林地域

OURA TATEBAYASHI



主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ・近年、頻発化・激甚化する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川休泊川の河川改修等を推進します。
- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道354号の電線共同溝の整備を推進します。
- ・利根川を渡る幹線道路の渋滞緩和による物流の効率化と大規模災害発生時の新たな広域避難・輸送支援ルートの確保のため、県道熊谷館林線（利根川新橋）のバイパス整備に着手します。

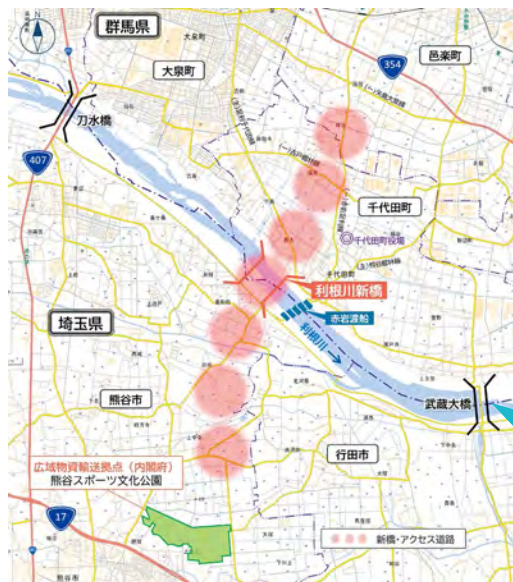
政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- ・市街地内の渋滞を解消するとともに、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るため、地域の南北軸となる国道122号館林バイパスの整備等を推進します。
- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道麦倉川俣停車場線の歩道整備や県道綿貫篠塚線の電線共同溝の整備等を推進します。

邑楽館林地域の中心的事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

県道熊谷館林線（利根川新橋）バイパス整備



● どのような未来につながるのか

- ◆ 周辺道路（渡河部）の渋滞が緩和します！
- ◆ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークが構築されます！

● どのような事業を行うのか

利根川に新たな橋梁を架け、千代田町と埼玉県熊谷市を結ぶバイパスを整備します。

▼ 武蔵大橋 ▼



「利根大堰」交差点渋滞状況

主要事業一覧

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

政策4 美しく良好な環境の保全

1. 継続事業※1

政策 施策	No.	事業名	所在地
1	施策1 オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）		
	1	一級河川多々良川 河川改修	邑楽町中野～石打
	2	一級河川休泊川（大泉工区）河川改修	大泉町西小泉～太田市内ヶ島町
	3	一級河川新堀川導水路 河川改修	明和町須賀～入ヶ谷
	4	一級河川新堀川 河川改修	館林市入ヶ谷町～邑楽町赤堀
	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進		
	5	国道354号（小桑原町工区）電線共同溝	館林市小桑原町
	6	国道354号（緑・美園町工区）電線共同溝	館林市緑町
2	施策1 予防保全に基づく長寿命化		
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備		
	7	県道矢島大泉線（谷田川橋）老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷
	8	県道山王赤生田線（楠工区）バイパス整備	館林市楠町
	9	国道122号（館林バイパス）バイパス整備	館林市北成島町～苗木町
	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり		
	10	県道麦倉川俣停車場線（中谷工区）歩道整備	明和町中谷
	11	県道足利邑楽行田線（光善寺工区）歩道整備	邑楽町光善寺
	12	県道綿貫篠塚線（東小泉工区）電線共同溝	大泉町東小泉
	13	県道佐野行田線（大手町工区）電線共同溝	館林市大手町
	14	（都）中央通り線 歩道整備	館林市本町

2. 令和11年度までに着手予定の事業※2

1	施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進		
	15	国道354号（東美園町工区）電線共同溝	館林市東美園町
	16	国道122号（栄町工区）電線共同溝	館林市栄町
3	17	県道熊谷館林線（利根川新橋）バイパス整備	千代田町舞木
	施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり		
	18	県道足利邑楽行田線（中野工区）歩道整備	邑楽町中野
	19	県道古戸館林線（赤土工区）歩道整備	館林市赤土町
3	20	県道赤岩足利線（蛭沼工区）歩道整備	邑楽町中野

3. 着手に向けて検討する事業

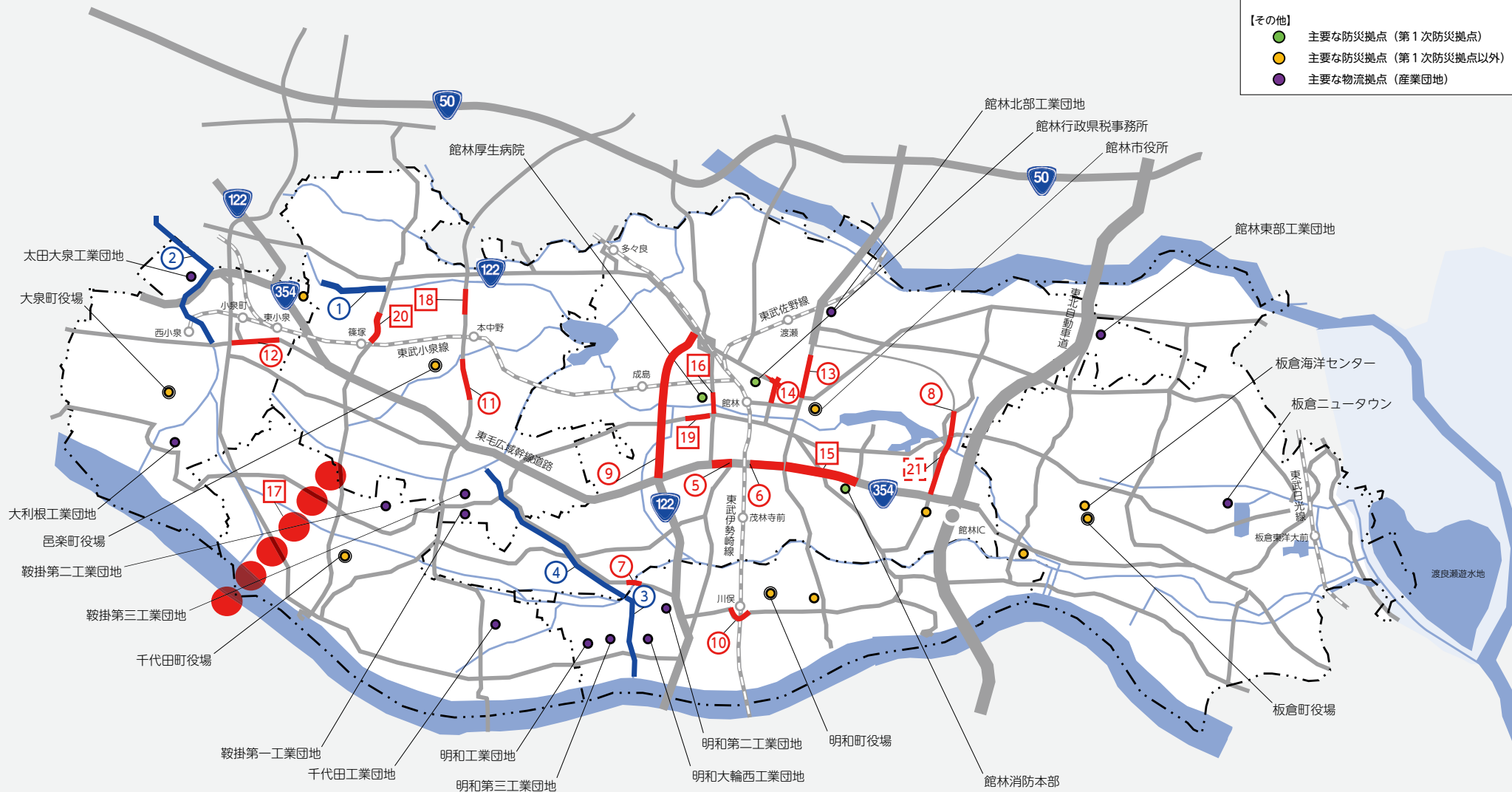
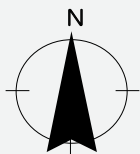
3	施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	21	県道山王赤生田線（楠2期工区）バイパス整備	館林市楠町～羽附町
---	---------------------------	----	-----------------------	-----------

※1 継続事業の完成予定年度は、次の計画に掲載しています。詳しくは、裏表紙をご覧ください。

【道路事業】群馬県道路整備アクションプログラム【道路、河川、砂防事業等】群馬県国土強靱化地域計画

※2 着手時期は目標であり、地元合意形成や関係者との調整状況、資材価格・労務単価の高騰等の影響により、変更となる可能性があります。

主要事業箇所図（邑楽館林地域）



※「着手に向けて検討する事業」の事業範囲は
今後の検討の中で変更となる場合があります。

政策の目的を達成するための

指 標 一 覧

政策の目的達成に向けて、県が主体となって取組成果を上げやすく、県民にとっても効果を実感しやすい指標を選定しました。また、具体的な取組の進捗状況を明確に把握するため、進捗状況の管理項目を設けています。ここに掲載されない目標値については、各施策・取組を所管する個別計画等の中で進捗を管理し、本計画の実効性を高めていきます。

政策	施 策	指 標	現状値	目標値	進捗状況の管理項目	現状値	目標値	進捗状況の管理項目	現状値	目標値
【政策1】 N.O. 1の実現 災害レジリエンス	【施策1】オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）	水害リスクが軽減される家屋戸数	29,393戸 (R6末)	50,386戸 (R16末)	河川整備計画に基づく河川整備延長	50.4km (R6末)	70.4km (R16末)	防災指針の策定市町村数	13市町村 (R6末)	23市町村 (R16末)
	【施策2】大規模災害を想定した事前防災の推進	孤立集落の発生リスクが軽減される路線数	14路線 (R6末)	34路線 (R16末)	孤立集落が発生するおそれのある路線における落石等対策の実施箇所数	54箇所 (R6末)	77箇所 (R16末)	孤立集落が発生するおそれのある路線における土砂災害対策の実施箇所数	30箇所 (R6末)	46箇所 (R16末)
	【施策3】「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート	水害や土砂災害からの「逃げ遅れ」による死者数	0人 (R6末)	0人 (毎年度0人の維持)	マイ・タイムラインの作成支援の進捗率	50% (R6末)	100% (R11末)	主体的に避難する力を育むための防災教育を支援した市町村数	5市町村 (R6末)	35市町村 (R16末)
【政策2】 持続可能で効率的な メンテナンス	【施策1】予防保全に基づく長寿命化	道路橋における老朽化に伴う劣化に起因した全面通行止め件数	0件 (R5末)	0件 (毎年度0件の維持)	道路施設の健全率	95% (R6末)	95%以上の維持 (R16末)	舗装の健全率	96% (R6末)	96%以上の維持 (R16末)
	【施策2】効率的な維持管理				河川構造物の健全率	99% (R6末)	99%以上の維持 (R16末)	砂防施設の健全率	92% (R6末)	92%以上の維持 (R16末)
	【施策3】新技術を活用したインフラメンテナンス				地域住民参加による維持管理プロジェクトへの参加団体数	1,062団体 (R6末)	1,062団体以上の維持 (R16末)			
					官民連携による新技術の試行件数	2件 (R6末)	24件 (R11末)			
【政策3】 未来につながる 魅力的なまちづくり	【施策1】エリア価値を創造する未来投資	リーディングプロジェクトエリアの地価	84千円/㎡ (R5末)	84千円/㎡以上 (R16末)	リーディングプロジェクトで実施する県支援策の完了件数	0件 (R6末)	4件 (R16末)			
	【施策2】持続可能で暮らしやすいまちづくり	市街化区域内人口密度	67.3人/ha (R5末)	60人/ha以上の維持 (R16末)	立地適正化計画策定市町村数	13市町村 (R6末)	23市町村 (R16末)	土地区画整理完了率	86% (R6末)	93% (R16末)
	【施策3】地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	渋滞損失時間の削減量	年間0人時間 (R6末)	年間106.9万人時間 (R16末)	高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率	88% (R6末)	96% (R16末)	主要渋滞箇所の対策率	21% (R6末)	34% (R16末)
	【施策4】誰もが安全に移動できる環境づくり	安全な通学環境の整備率	77% (R6末)	95% (R16末)	通学路の歩道整備延長	617.2km (R6末)	676.4km (R16末)	中高生の通学経路における自転車通行空間の整備延長	172.4km (R6末)	301.3km (R16末)
【政策4】 美しく良好な 環境の保全	【施策1】豊かで美しい自然環境の保全・再生				多自然川づくりに取り組んだ河川整備延長	50.4km (R6末)	70.4km (R16末)			
	【施策2】健全な水循環の維持・回復				汚水処理人口普及率	85% (R5末)	92% (R14末)			
	【施策3】地球温暖化対策の推進	県内温室効果ガス排出量	14,268千トン・CO ₂ (R3末)	9,823千トン・CO ₂ (R12末)	県営ダム及び砂防堰堤を活用した水力発電の実施件数	2件 (R6末)	4件 (R8末)	下水道汚泥のリサイクル率	100% (R5末)	100%の維持 (R16末)
【方策1】 いと維持資本の整備 手の確保・育成担	【方策1-1】建設産業の働き方改革				週休2日制現場の達成率	84% (R6末)	100% (R11末)			
	【方策1-2】建設現場の生産性向上	災害時に迅速かつ機動的に対応可能な建設業者数	287業者 (R6末)	287業者の維持 (R16末)	ICT活用工事（発注者指定型）の実施率	95% (R6末)	100% (R9末)			
	【方策1-3】建設産業の魅力の発信									

2045年 温室効果ガス 空き家対策 地球温暖化
 ワイズスペンディング エリア価値
 インフラ老朽化 気象災害の頻発化・激甚化 好循環
避難サポート 未来 インフラメンテナンスの産業化 災害対応組織力 東京一極集中 流域治水 渋滞対策
地域間連携 リトリート コロナ禍
 担い手確保 災害レジリエンス 事前防災 水循環
ビルド・バック・ベター
ドーナツ経済学 GI 維持管理 長寿命化 幸福度の向上 DX 法指定通学路
クーリンエネルギー産業 建設産業 まちづくり 能登半島地震 下水道 交通安全
ネイチャーポジティブ 防災・減災対策 孤立集落
働き方改革 サーキュラーエコノミー
県土整備行政の見える化 連携・共創 県民 複合的な投資効果

社会資本整備は群馬の可能性を最大限に引き出す未来投資

将来を見据え、「攻め」の姿勢で災害に強く魅力的な群馬を創造

社会資本整備は、県民のみなさまの安全・安心を確保するとともに、経済成長や持続可能な地域社会の基盤となり、群馬の可能性を最大限に引き出す未来投資です。

これまで、過去の自然災害への対応など、「守り」の姿勢で防災・減災対策に緊急的、重点的に取り組み、県土の強靱化を着実に進展させました。「災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県」を実現するため、建設産業界をはじめとする関係機関との「連携・共創」をさらに深化させ、防災・減災対策のより一層の強化に取り組むとともに、地域ごとの「災害対応組織力」を維持することで、県土全体の強靱化をさらに推進していきます。

また、魅力的で活力に溢れ、将来に渡って誰もが幸福を実感できる新しい群馬を創るためには、未来を切り拓く礎となる取組も必要です。新たな富の創出に向け、群馬らしさ溢れるプロジェクトにもチャレンジしていきます。20年後の将来を見据え、「県民の幸福度向上」につながる取組を推進し、「攻め」の姿勢で災害に強く魅力的な群馬を創ります。

※主要事業一覧に掲載している継続事業については、以下の個別計画で完成予定年度を明記しています。

■ 群馬県道路整備アクションプログラム

国・県・市町村が実施する道路整備を今後10年間でどのように進めていくかを具体的に示した計画です。「第2部 地域計画編」において、継続中の道路事業の完成予定年度を掲載しています。

群馬県道路整備アクションプログラムは、以下のURLまたは右図の二次元バーコードからアクセスしてください。

【URL】 <https://www.pref.gunma.jp/page/11116.html>



■ 群馬県国土強靱化地域計画

群馬県の国土強靱化を推進するための指針となる計画です。完成予定年度は、計画本文ではなく別冊（国土強靱化のために実施する主な事業一覧）に掲載しています。

群馬県国土強靱化地域計画は、以下のURLまたは右図の二次元バーコードからアクセスしてください。

【URL】 <https://www.pref.gunma.jp/page/8154.html>



ぐんま・県土整備プラン2025

—災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県の実現—

■ 令和7年3月

■ 発行・編集 群馬県

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号

県土整備部建設企画課政策・DX推進係 電話 027-226-3535（直通）

■ 群馬県ホームページ —ぐんま・県土整備プラン2025—
<https://www.pref.gunma.jp/page/690396.html>

